京城日報

三月四日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
[illegible]

露國騷亂情勢

▲日本の活動を豫期す　在西伯利亞獨墺俘虜横行

デーリーメール天津通信員發電に依れば西伯利亞に於ける獨墺俘虜の横行益々甚だしく日本は近く何等かの行動に出づ可しと豫期し得る理由充分にあり尚浦鹽斯徳は益々無秩序となれり（倫敦電報）

▲更に講和の意無し

諸種の情報を綜合するに過激軍は飽迄軍事行動を繼續せんとするものゝ如くブレスト、リトウスクに於て露國側より軍事行動の休止を要求し來りたるに對し獨逸側は三月四日午前十一時迄に講和條件に調印されたる場合のみに限り休止すべしとて相手にせず講和の意なきは過激派政府の報告に徴するも明かなり（長春特電）

▲遁走兵銃殺嚴命

哈爾賓電報に曰くクルイレンコ總司令官は各戰線部隊長に對し戰線より遁走し來る者は審判をなさず銃殺す可しと嚴命せり（長春特電）

▲內田大使の通過

內田大使一行は二十八日ボログダを通過せり（哈爾賓特電）

◎滿鐵豫算完成

滿鐵七年度豫算案完成し三日川村理事携帶東上せり（大連特電）

◎大豆受渡解決

大連大豆受渡問題は三日左の形式にて解決せり
一、賣方は八月限りの豆を引取買方は九、十兩月限り豆を引取る事
二、賣方は買方に銀百八十九萬七千百二十二圓を支拂ふ事
三、信託會社は買方に對し金四十六萬五千六百九十二圓を支拂ふ事
四、買方の供託せる假處分申請供託金十七萬圓は無條件取下る事
五、訴訟及び仲裁費用は賣買當事者及び信託會社にて三分し負擔す可き事
其他二三の條件にて解決せり（大連特電）

◎大阪白米値上

大阪穀物組合にては六日より白米小賣一升六厘宛値上げす（大阪特電）

◎北滿最近狀況　露日本を信頼す

予は或種の用務を帶びて常に北滿及び內外蒙古附近の事情を調査しつゝあるものなるが今回の歸朝は▲獨逸の勢力漸次露國を使し隨つて蒙古方面に於ける關係も亦頗る複雜せるものあるがため一先づ同地を引上げたる次第なり何と云ふに未だ露國が獨墺軍と健全に戰鬪を繼續し同國政府が我聯合國政府と協調を保ちつゝありし間は蒙古方面に居住せる露人と日支人間の交情甚だ密なるものあり就中予等日本人を信頼するの念最も盛んにして偶獨軍が勝利を占めて露軍が戰線に於て不利を招けりとの報道の傳はりたる際の如きは何れの露人と雖も日本人を見る毎に▲精鋭なる日本兵は何故出征せざるや而して我軍の士氣を鼓舞せざるや勇敢なる日本兵にして一度出征せんか獨軍如何に勇猛なりと雖も必ずや之れを粉碎するに難からざるべしなど頻りに日本人を勸誘する簞裏心に日本人を信頼しつゝありしかば隨つて同方面に於て商業を營める日本人も勢ひ諸種の便宜を得る處少からざりしが其後露國が政變の結果遂に獨逸と單獨講和をなさんとするや露人は漸く日本人を畏怖し果は都なる疑心暗鬼を抱きて日本は或は不意に露西亞を背後より襲ふものに非ずやなどの臆測をなし何れも戰々恟々たるものあり是等の心的狀態は軈て日本人との意思の疎隔を生じ邦人の商取引にまで多少の障害を來したるは甚だ遺憾とせざるを得ず而して今や更に進んで獨の勢力▲全露に漲るに至りし折柄或る意味に於て東洋保全の鍵鑰とも云ふべき支那北境附近殊に西伯利亞鐵道と東滿鐵道の接續點附近に於ては種々なる意味の下に獨露日支各國注目の焦點たるは固より當然の次第にして就中日支兩國は東亞の保全上相當の軍事的設備を此邊に施す事を以て最も焦眉の急務とすべく傳へらるゝ處に依れば支那は時局の切迫に漸く長夜の眠りより覺め段祺瑞督辦の手を以て夫れ〳〵北邊の防備に著手せりと云ふ要するに日本は前述の如く西伯利亞東滿兩鐵道の接續點附近の防備を强固にし獨軍の東漸を支ふるの要あり（某軍事通談）

◎滿洲里附近鐵橋破壞眞相

滿洲里附近に於ける鐵橋の破壞は獨探の行爲なるが如く報せらるゝも『滿洲里驛よりの通信に依れば』と題して二十八日發行の露新聞に揭載されたる處に依れば滿洲里以北後貝加爾鐵道の方面に於て鐵道線路破壞されたり之が原因は過激派が百二十車に兵を滿載してセメノフ隊に對抗せしめんが爲め輸送を開始したるを探知したる反過激派が之を妨害せんが爲め線路の破壞を試みたるものなり爲めに西伯利と滿洲との交通は全く杜絕したるのみならず近く復舊の見込無しといふとあるに依り獨探の所爲にあらざるは明瞭となれり因に破壞せる地點は滿洲里驛より西北百二十露里を距るボルジャー驛附近の鐵道なるべしと右に付既にペトログラードを出發したるべき內田大使は非常なる困難に遭遇すべきやに想像さるゝも破壞されたるは鐵橋のみなるを以て渡船聯絡の途あり今日迄の報道を根據として考ふれば大使の旅行には別條なかるべきかと某消息通は談れり

◎總督築港視察

長谷川總督は三日午後一時神田秘書官、齋藤大島兩副官を隨へ自動車にて仁川に赴き京仁間道路及び仁川築港狀況を視察したり

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は四日午後六時三十分官邸に於て晩餐會を開き目下開會中の憲兵隊長警務部長會議の爲め入京中なる同隊部長古海警務總長以下警務總監部憲兵隊司令部課長以上並に松川軍司令官、宮保旅團長及び總督府關係各長官同局長等主客四十名を招待せり

◎昌德宮午餐會

各道警務部長及び會議關係者の主なる人々は四日正午昌德宮に招かれ仁政殿に於て李王殿下に謁見終つて東行閣に於て午餐の饗應ありたり

◎郵便規則改正せん

遞信省にては今回省令五號を以て郵便規則の改正を發布四月一日より實施の事となりしが朝鮮總督府にても取扱ひの整一を期する關係上遞信省にて改正せし如く近く改正を行ふ事となるべく目下調査中なり尚改正の要點は紡績書の面に於ける通信文記載欄を二分の一に擴張する事別配達其他務めて一般の便宜を圖りありと

◎單獨講和と露紙　東淸鐵道機關紙の所論

單獨講和は全露の責任

露國單獨講和の結果に就て哈爾賓に於て發行せる東淸鐵道機關紙たる露國新聞滿洲新報は客月二十八日の紙上に述べて曰く過激派政府の爲め露國は遂に其軍兵を解隊せしめられ獨逸の頤使のまゝに芬蘭、小露西亞、波蘭及び波羅的沿岸の諸州を失ひ其人口に於ては實に三千八百萬を算す然かも極東の運命は更に如何に變化すべきや洵に寒心に堪へざるものあり、是れ一に聯盟國のレーニン政府の行動に對する措置に歸すべきのみ聯盟國は露國を崩壞せしめたる罰として過激派を懲らすと同時に此の責任を全露西亞に負はしむることを得べし蓋し之が爲めに露國の部面を割きて一々誰何詰責する能はざるを以てなり最近ペトログラードの佛國大使は『單獨講和成立し捕虜交換を承諾するに至らば聯盟國は露國と交戰狀態に入れるものなり其結果として西伯利は日本の占領する處と成るは到底免かるゝを能はざる也云々』と謂へり然れども聯盟國は聲明して曰く露國の聯盟國に對する背信の罪は之を全露國民に科するの意なし云々とあるに見れば佛國大使の所謂占領の目的は明瞭を缺くこと、成るなり即ち此の占領が露國が直接に過激派を助けて事を制たりや將に過激派を助けて背信せし微罰なるやを此に至らしめたるの徴罰なるやを疑はざるを得ず

◎警務部長會議（第五日）

憲兵隊長警務部長會議第五日は四日午前九時より司令部階上會議室に開會出席者前日の如く古海總長統裁の下に午前館山兵器支廠長野口技師外三名の部外講話あり正午より別項記載の如く出席者一同昌德宮に於ける午餐會に參列し午後一時半より再開軍經理部長歐部長外一名の部外講話あり同四時閉會せり因に會議は當日を以て終了し五日は一同全鮮憲警武術大會を觀覽す

◎朝鮮線の滯貨　輸送制限は依然

滿鐵京城管理局調査二月二十八日午後六時現在の朝鮮線に於ける各驛滯貨並に局線內輸送中のものは合計三萬六千九百九十噸にして依然として鐵道輸送量增大せざる關係上停滯工量を算し猶昨年十一月の申込に係るものゝ本州行きは五百五十二噸又十二月中込のもの本州行き八千九百六十一噸九州行き七十四噸を見四箇月乃至五箇月の停滯を續け居れり滯貨內譯如左

▲朝鮮線滯貨內譯

	本州行	九州行
十一月中申込のもの	五五二	
十二月同	八、九六一	七四
一月同	一、七四二	二、〇九〇
二月同	七、五七九	二、七九三
釜山後積	一、二四三	五三八
發送中のもの	九二六	四八七
合計	三一、〇〇三	五、九九五

而して關釜聯絡及び山陽線の輸送力は本州行き朝鮮滿洲兩線發の四百八十噸釜山地發二十噸にして九州行きは滿鮮發一百二十噸釜山地發八十噸となり朝鮮線發送に對する制限は車扱本州行き毎日十五車九州行き四車にして一驛一日の發送噸數扱二噸（米大豆を除く）迄及び斤扱貨物は制限を附せずと

東京より　在京一記者

世界思潮の大勢と我が帝國（十五）

◎苟くも我が帝國にして、世界大戰に參加し、東邦に於ける最大の使命、最高の天職を全うせむと欲せば、世界思潮の新傾向新趨勢を察し、其の長を採り短を棄て、之れが利用を謀る可からざるは、言を俟たずと雖も、皇室中心主義に基きて國民的精神を涵養し、國民的準備を完整ならしむることを忘る可からず。國民的精神動員の必要乃ち此に存す。○國民的精神の動員を遂行し、帝國の使命と天職とを全うし、進みて世界の平和に貢獻するの道は、皇室中心主義を實行的に顯はすより急且つ切なるは無し。而して皇室中心主義を實行に顯はし、發國の宏謨を恢弘せむと欲せば、王道的民主々義を以て極端的民主々義の横流を未然に制し、國家的社會主義を以て極端的社會主義の浸潤を未萌に防ぐも亦今日の要務たるに相違なしと雖も、要は宇內特絕の國體と帝國特殊の使命とを自覺し、世界の大勢に應じて健實偉大なる國民的精神を發揮し、國民的準備を完整するに在り。國民的精神の動員を遂行するに在り。彼の喋々として民主々義と云ひ、帝國主義と云ひ、將、民主々義、民族主義と云ふが如きは、抑も亦末のみ。○露國は、帝政を廢して民主制を布き、極端なる民主々義を實行して、一億七千萬の民衆を水火の中に投じたり。極端なる社會共產主義を實行して、世界第一等國たる國家を土崩瓦解の域に陷らしめたり。而して國民猶ほ且つ極端的民主々義、極端的社會主義の空想に耽溺し、彼等が空中に描き出す所謂理想的國家に到著せむことを期するもの『他無し、彼等自ら露國の精神を自覺せざるが爲のみ。』昔し孟軻、楊墨の說を排して之を洪水猛獸の害に比す。今や社會共產主義無政府主義の害や、洪水猛獸より太甚しきものあり。吾人は露國過激派政府の暴威を逞うするを恐れずと雖も、社會主義者、無政府主義者の虛無思想に至りては、今日に於て絕對的に之を豫防するの必要を感ぜざる能はず。其の豫防を感ずると同時に、王道的民主々義、國家的社會主義の實行を促さゞる能はず。他無し、王道的民主々義と國家的社會主義とは、歷代天皇の實踐し給へる所にして、亦實に我が固有特殊の國體と國民性とに反對背馳する所無ければ也。○今日は世界平和の最大危機にして、帝國の安危存亡も亦將に此時に決せむとす。國民的精神の動員已む可からざる所以のもの、吾人實に之を認む。然れども徒に彼の民主々義、民族主義の應聲蟲と爲りて之に共鳴し、我が固有特殊の國民的精神を忘るゝが如きは、吾人の斷じて取らざる所。吾人は我が日本民族が世界的に自覺し、國家的に自覺し、露國的社會主義の東漸を豫防すると同時に、數千年來涵養し來りたる宇內特絕の國民的精神を發揮し、世界に於ける帝國の使命を全うせむことを望まざらむと欲するも能はざる也（完）

◎勸債賣切り

二日より賣出したる第六十八回勸業債券は即日賣切れとなりし旨三日朝遞信局に入電ありしが同日を以て各郵便局に於る貯金の債券申込みを締切りたり尚ほ今回郵便局への申込みは二千餘人四千七百枚なるが多分其の募入は全部と云ふを得ざるべく約半數位ならん又各銀行割當分は既に賣切れ居れり

◎正米依然高し

京城正米は鮮米の高値並に資物薄及び某方面の思惑買手傳ひ依然昂騰一方にして四日の相場は玄米日本種二十二圓九十五錢鮮種二十二圓四十五錢にして前々日より三十五錢高を示し又白米は上白二十七圓を唱へ掛賣りは二十八圓と進みこれ又前々日より三十錢高なるが狀勢上記の如きに付き目先き外米の大入荷にても見ずば其の値下りは望み難かるべく小賣白米三十錢も近き模樣なり

◎朝鮮對關門若貿易

二月下旬に於ける朝鮮對門司下の關若松三地との移出入貿易は左の如しと
▲門司港　移出十一萬八千六百八十九圓にして移入二萬二千二百零三圓移出超過九萬六千四百八十六圓なり
▲下關　移出七十一萬九千四百三十八圓にして移入は三十五萬零三百五圓を算し移出超過三十六萬九千百三十三圓なり
▲若松　移出一萬六千圓移入二十三萬四千〇一圓にして移入超過二十一萬八千零十四圓なり、尚ほ若松よりの移入多額なるは石炭の關係にて下の關移出の多かりしは穀類なりと

◎元山經濟狀況　（特派正月）

に入りて以來元山地方の金融界は一般に閑散を免れず各銀行共唯歲末貸出資金の切りに回收せられつゝあるのみ而して客冬來同地方の經濟界は其經濟關係を主として支配すべき主宗商品たる大豆の不作減收明太の不漁次で鰊漁の捗々しからざる等何れも悲觀材料の頻出を見たるも幸にして諸物價の高騰に伴れ例年に比し相場何れも好調を呈し爲めに杞憂したる經濟界は豫期に反したる順調に經過しつゝあり而かも最近に於ける時局の關係は益々同地方面に於ける經濟界に好果を齎らさんとしつゝあるものゝ如し

◎滿鐵社員增給　二割乃至二割五分

滿鐵會社にては諸物價騰貴に付三月一日より當分の內同社職員以下雇員傭人に對し左の如く增給を行ふ事となりたるが京城管理局側も素より均霑す
▲職員　二割乃至二割五分▲雇員（月給者）同上▲雇員（一日給者）一日廿錢宛▲傭人　內地人十錢鮮人七錢

◎東拓移民渡來

二月中に渡來せし東拓第八回移民は漸く二三十戶にて甚だ振はざるが之は每年の例にて殊に本年は寒氣嚴烈なるに付其の渡鮮を躊躇し居れる者多しと見るべく三月中には多數者の渡來あるべきかと

◎參禮金融組合

全北參禮は米穀其他特產物の集散地として近時著しく膨脹發展し從來同地方は金融機關の設なかりしが次で切りに金融機關開設の必要を感じ過般來同地人士の間に之が實現運動中の處近く同地に金融組合の設置を見るべしと

◎滿洲製粉募株

滿洲製粉會社にては今回增資計畫中の新株一萬株を公募中なるが同社の成績は頗る良好なるため額面超過十圓以上と定められ居り鮮銀本店にても申込を取扱中なり

◎書記長會議開期

朝鮮商業會議所書記長會議は豫記の如く來る十二日京城に開會さるべく右は近く開かるべき鮮滿聯合會議に關する準備事務其他の打合を爲し併せて書記長の親睦を圖るにありと

◎判任見習試驗

總督府にては四月中旬頃判任見習試驗を執行すべきが其期日は近日中發表さるべし

◎京城農業學校設置

京城公立農業學校は二月二十八日附を以つて當局より其の設置を認可せられたるが其位置は京畿道高陽郡崇仁面なりと

◎教育視察團通過

支那視察團三十二名は日本內地の教育視察を終へ四日朝釜山著直に午前十時半の列車にて北行せり（釜山特電）

◎國分長官催宴

國分司法部長官及び中村京城覆審法院檢事長は目下會議の爲入京中なる各道警務部長を主賓とし古海警務總長以下各課長其他を三日夜花月に招待し宴を催したり

◎秋山長官消息

青島民政長官秋山雅之介博士は二日東京出發青島歸任の途四日朝入京の筈なりしも途中急用生ぜしと見え四日には來京せざりき尚ほ其の著期は未定なれど京城經由を變更せざる限り一兩日中なるべし

◎久保局長本社行

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は大連本社と事務打合の爲四日夜南大門發列車にて出發の筈なるが本月十二日頃歸任の豫定

◎矢野遞信課長歸期

南北滿洲旅行中の矢野遞信課長は來る七日若くは八日夜歸京すべしと

◎松井所長巡閱

警官練習所長警視松井信助氏は警務總監部保安課警視脇野義雄氏外警部三名帶同警察事務巡閱の爲め往復十日間の豫定にて全羅南北管內に向け五日朝出張すべし

【群山】

▲小學校生徒志望者　群山公立尋常高等小學校に於ける本年上級校進學志望者を聞くに尋常科六年卒業生中中學志望者六名商業學校志望者二名高等科一年修業生中中學志望者八名工業學校志望者四名商業學校志望者二名中學志望者一名工業學校志望者二名中學志望者一名合計二十四名にして昨年に比し三名を增加せり又女子上級校進學志望者は尋常科六年卒業生中女學校志望者四名高等科二年卒業生中技藝學校志望者二名合計六名にして昨年に比し一名を減じたるが別に群山實科高等女學校入學志望者九名あり結局昨年に比し女子の上級校進學志望者增加せる譯なり▲港灣視察　土木局仁川出張所長技師永井松次郎氏は港灣視察の爲め一日來群し群山土木局出張所菊地技手の案內にて實地視察を遂げ菊地技手天野府尹谷垣商業會議所書記長等交々說明する處あり斯くの如くにして引込線問題の先決問題たる江岸埋立問題も着々進捗しつゝあるものゝ如し▲府尹出京　天野群山府尹は公務を帶び三日出京したるが京城滯在二日間にして歸任すべしと▲熊本氏退群　全北熊本農場主熊本利平氏は農場其他に關する要務も一段落を告げたるを以て近日當地出發京城に向ひ數日滯留の上內地に[illegible]還すべしと

◎訂正

三日朝刊二面立花將軍の詩中[illegible]の誤一穗[illegible]の誤

人事消息

▲圓山太樹師　三日大連より入京四日午後六時五十分南大門發列車にて京都に向ふ
▲山崎猛氏（松島洋行員）　四日朝入京朝鮮ホテルへ
▲齋藤鍾三氏（慶北第一部長）　四日夜入京不知火旅館へ
▲李完用伯　三日午後總督府へ
▲松寺平壤覆審法院檢事長　三日夜入京[illegible]へ
▲熊本利平氏　三日夜入京京城ホテルへ

彼れ此れ

◆獨逸には近時、伯林より東[illegible]と云ふ、新しき流行語ありと。意味や深長、吾人の緊褌一番、思の玆に存すれば也。
◆獨逸宰相は、獨逸參戰の目的は、全然米大統領ウキルソン氏と其見を同うすると述べて、米政府を壓倒す。墺國外相と、肝膽相照せる大統領も、之には流石に迷惑の氣味あるは奇觀也。
◆獨逸が每度僞報を、公然發表するは、今更の事に非ず。然れども、ウオルフが我戰艦に、大損害を與へたりと、發表するは、寧ろ抱腹絕倒の極なり。最早世間容易に其手には乘らず。唯一杯喰はされしものは、獨逸國民と、露國の過激派のみ、笑止の至り也。
◆浦鹽の秩序は、益々紊亂すと報ずる者もあれば、近時平靜なりと、傳ふる者もあり。一體北滿より、西伯利亞地方の模樣は、[illegible]づ以て、不明と云ふが、當然な[illegible]べし。浦鹽の如きも、二百萬圓を强奪したる、强盜團が、此程[illegible]部を、窮民に分與せりと云ふ。[illegible]品目錄を、當局に報告し、駐[illegible]川五右衛門の、一代記にでも在[illegible]相なり。何としても、普通の判[illegible]では、露國の事は判らざる也。
◆若葉は漸く徂かんとし、山は[illegible]勝に笑はんとす。陽光は日に、[illegible]野花一路、胡蝶人と相追ふも、[illegible]にならんと欲して、郊外の天[illegible]遠からざる際し、極東の風雲は愈々險にして、且つ急なり。東[illegible]の天地、之より又た多事に入らむ

敦賀港外の水雷演習

港內外緊張の狀あり

三日午後一時半敦賀港內に二隻の水雷艇舞鶴軍港より急航し來り港外にて水雷發射演習を續行しつゝあり今後交代にて水雷の警戒演習ある由にて港の內外緊張の狀あり（敦賀電報）

九州大疑獄事件

＝檢擧七十名に及ぶ＝

在監中縊死自殺せる高等官三名に達す

平沼檢事總長以下が秘密裡に大活動、續行し近來の一大事件として世人の注意を喚起しつゝありし九州大疑獄事件の成行は其筋より掲載禁止命令解除さ共に十日より各新聞に發表せらるべし事件の內容は押川長官自殺もこれに關聯するものにして福岡縣下に於ける

一、鋼鐵拂下　二、鑛山出願許可

三、石炭運搬鐵道會社運動に關聯する收賄官吏瀆職罪

等の問題なり本件に就き其筋に檢擧せられし者既に七十名に及び內在監中縊死自殺を遂げたる高等官三名に達せりと（福岡電報）

廣島貯蓄重役取調

四十萬の大穴

廣島の株式會社產業貯蓄銀行多賀の重役等共謀して四十萬圓の大穴を明けたる由にて專務たりし上原龜六取締役桑原、安仲、武田、吉村、元支配人にして佐賀市長野口此毅氏並に元行員菅野氏等は其筋に取調べられ右の內には身邊危き者あり（廣島電報）

市會不正事件

京都市會議員不正事件に就き議員宮川、澤田兩名は三日大阪地方裁判所に召喚され樋口檢事に取調べらる（京都特電）

木浦の朝火事

在庫品七千圓

二日午前八時木浦榮町二丁目五番地村上直助氏所有の倉庫より發火し九時鎭火せしが幸に風なく見早かりし爲め周圍密接せるにも拘らず類燒なく在庫品は米利堅粉、金巾、豆粕、洋紙、燐寸、砂糖、其他にて七千圓餘の物品燒失したりしが倉庫に八百圓商品に五千圓の火災保險をリバール會社に契約しありたりと（木浦）

◇水くみ◇
漢江の氷は解け掛の砌は背んで來た

捕縛の刹那剃刀自殺

女に惚けて大金拐帶

三日午後七時頃仁川敷島遊廓に於て大金拐帶の一青年が刑事に取押へられんとする刹那西洋剃刀にて見事自殺を遂げし椿事ありたり

◈詳報 を聞くに自殺者は和歌山縣和歌の浦生れ東口政市事德太郞（二九）と呼び二三年前まで仁川九三運送店に勤め居たることのある者にて其當時敷島遊廓の一力樓抱娼妓勝次に熱くなりたる揚句紋切型の不首尾を仕出かして居るに居られず大連に高飛びし某所に

◈奉公 なし居りしが其後勝次より逢ひたい見たいと矢の如き音信あり同人も遂に心動きて二月二十三日七百五十圓を橫領し香島丸にて江原丸に便乘し三日仁川に上陸するや直ちに一力樓に登樓したるもの、如く、此より發仁川警察署にては大連民政署よりの

◈取押 方電報に接し居たるを以て石川澤の兩刑事は直ちに敷島に張込み同人の登樓を待つて取押へんとしたるに早くもそれと感附きたる同人は裏口より逃げ出しあわや石川刑事に捕縛されんとする刹那懷中の

◈剃刀 を以て已が咽喉部に押して見事頸動脈を搔切り自殺を遂げたるが此時同人は勝次との間に身請の相談成り現金四百二十圓を勝次に渡し置きたりと因に政市は殺したる場所は明治四十年一月囚徒の親分吉田寅吉が其の朋輩たる古賀新太郞の

◈怨の 刃にかゝつて一聲の下に斃されたる場所なれば遊廓內にては今度の椿事發生以來遙かに擔ぎ出し薄氣味悪がり居る由（仁川電話）

京城中學校入學試驗

四日試驗執行

京城中學校入學試驗は四日午前九時から行はれた、受驗者は既報の如く四百九十三名當日の試驗科目は數學と讀方とであつたが、蹴り易い少年の胸は

◇緊張するやら不安に打震ふやら、答案を提出して校庭に集ると三々五々答案に就いて問答を始める其の顏の色の得意と失望、試驗氣分は又格別である。本年の受驗者は京城が最高の三百四十名、仁川が三十二名道別にすると

◇京畿道が三百九十九名忠北が七名忠南が十一名、全北が十三名、全南が七名慶北、慶南、平南が各七名黃海、平北が各四名江原が一名咸南が十七名咸北が六名滿天二名內地一名で之を學年別にすると尋常六年が二百六十九名高等科一年が百五十六名同二年が六十一名其他が七名

◇朝鮮人の志願者は京城七名其他京畿道內が三名忠南が二名咸北が一名と言ふ數になつてゐる右の志願者中新設龍山中學校への入學希望者は六十五名あつた

一萬人のニコニコ

滿鐵の增給

來る四月一日からは判任官と雇員に對し戰時の臨時手當として本俸の三割を受ける事となつてゐるがそれに

◈魁が けて滿鐵の京城管理局では職員及び月俸の雇員は二割乃至二割五分日給の雇員には一人に一日

◈廿錢 傭人には內地人十錢鮮人七錢の增給を三月一日から實施することゝなつた鮮鐵に從事してゐるものは事務の方並に現業を合し約

◈一萬 人に近く其の俸給も少なくないから今回の增給によつて滿鐵の支出する金は京城のみで數十萬圓に上るであらう、然し何はあれ鐵道從事員はニコ〳〵の次第である

◈增給 の理由は物價が天井知らずに暴騰するから其の一部の救濟策である又一面より見れば同社下級の雇員傭員は比較的

◈安い 給料で働らいてゐたから今後は其の平均率も上つたであらう

汝の名は弱き者よ

ビールの主任

△サクラビールの櫻井君さ△仁川の名物仲居お節の事

[illegible]

◈急 ぎ足に行く件の紳士を不思議さうに眺めながら、追ひ縋るやうに近づいて其の様子を見るや意外な物に出遇つた時のやうな表情を見せると『アラまア——』と顏を赤らめ一方の紳士は少しは驚いた風だつたがそれから三四日經つてもの紳士が平壤に戾りそれでも取り殘した者が咲いたやうな顏をして二人は連立つて仁川に出るさ女は

◈浮 く〳〵した調子で『珍らしい所でお目にかゝつたんですから御一緒に名所見物でもしましょうよ』と擦りでサッさと自動車を雇ひ、餘り逆まない紳士と共に車上に納まり込んで京城へ、大同江の遊りを、牡丹臺やら乙密臺やらに車を驅つてゐたが、やがてそれにも厭きると、例の桃美しい土地で一流の料理屋へ紳士を連れ込み藝者を呼んで底抜騷ぎをやつて兩人同じく

◈宿 屋に引揚げたがその翌日も翌くる日も前後三日間さいふもの、女が音頭取で料理屋を呑み步いて大散財、受身の紳士はそのの戀へト〳〵になつて宿屋に歸ると勿々に用を片づけて新義州へ立つて終つた。女は赤土地の衣しい藝者と共に仁川へさ切符を買つて

◈逝 興代から旅館代まで悉く自分が持つに至つた

◈名 物仲居として知られたうろこ……

[illegible]

容姿花の如き 美人間諜（九）

萬事休す總ての秘密書類を奪はれた＝伯爵夫人は直に露都を逃れた＝議會では大問題となつた

伯爵夫人等の大膽な計畫が續々遂行せらるゝと共に露國々會議員中には早くも其れを注目するものもあつた夫人の身上に起つた重大事件と云ふのは其等愛國の士の

◈非常手段 であつた或る日夫人は邸宅を出てプーラッチェルの新社にゆく途中突然四人の強漢が物影から躍り出して有無を云はさず呻吟の間に夫人の持物一切を掠奪した着て居る外套迄も剝いで逃走した夫人は流石に女で夫れに對して何の手出しも出來ず唯慾きに打ち震ふ許りであつた

盜難品の中にはプーラッチェルに渡すべき多くの書類も這入つて居たミリユーコフを政治界から葬るべき目的を以て莫大な金を投じて手に入れた證據類もあつた而して此等の一切を其の翌日の新聞紙に掲げてミリユーコフの公生涯を終焉せしむべき手筈になつて居た未だ其れのみではない首相スツルメルの書いた英國の

◈對戰態度 を攻擊した論文

[illegible]

夫人は夢中になつて邸に走せ歸るとワシルチコフも外出して居なかつた彼れの身上にも何事か起りはせなかつたかと心配はするけれど最早今は寸時も猶豫すべきでない一人の女中を呼んでワシルチコフに直ぐ追つ掛けて來る樣にと言ひ置いて

夫人は大急ぎで荷物を整へ自動車を呼ぶと呆るゝ女中等に目もくれず一直線に停車場に走せ付けると最う伯林行の汽車の中に其の姿を隱した不敵な夫人は窃かにワシルチコフと夫人の陰謀が之で全く暴露せらるゝかと思ふと殘念に思ひながらも伯林に向つて走る汽車の中で更らに

◈再擧を考へた 之が爲プーラッチェルは直に捕縛せられて嚴重な訊問を受けたが彼れは元來金の爲に働いて居た男であるから總てを自白した此の強漢の四人は若い國會議員であつた夫人等の恐ろしき陰謀の證據物件は今や國會議員等の手中に歸したのであつた勿論此の事件は重大な瀆職事件で（あるから議會では喧しい）問題となり延いてはスツールメル

[illegible]

連絡船上陸客

三日午前釜山入港新羅丸二等客

[illegible]

記者の手帖から

あめりか土産

＝丹羽清次郎氏の話＝

◈米國に居る日本人の話 滿鮮視察の爲め來京した丹羽清次郎氏の直話——と云ふとちと古い樣だが我同胞の發展しつゝある有樣を聞く事は愉快な事であるから敢て飛び込んで聞くのも悪しいと思つて斷片的に二三の新聞紙に掲載したものが……勿論既に御聞及びの方も多數あらうが——

私は今回で三回目の渡米をしたが前二回に比べると日本人の狀態が非常に良好になつて來た事は最も愉快に感じた事である殊に西岸に於ける農業經營者の發展は驚くべきもので野菜類は全部邦人の手に依て供給されて居るシャトルでも半ばはある市場に百軍位の車を並べて居るのを見ると內九十臺は日本人のである又ロスアンゼルスには一町四方の大市場があるが矢張九割は日本人の野菜で埋まつて居る有樣で斯の加州で排日熱の一時昂まつた時も御亭主は一に排日二にも排日で騷いでる間に妻君は日本人の野菜は甘くて廉いと云ふので喜んで買ひに來るつまり表から排斥せられながら臺所から歡迎せらるゝと云ふ奇現象を呈したのも面白い話である。シャトルとロスアンゼルスの中間にリビングストンと云ふ町が出來たが之れは實に日本人町で皆二三十英町から二百英町の土地を持つて葡萄の栽培をやつて居るが此所も十年以前は日本人が失敗に失敗を重ねた處で悲慘な物語も殘つて居る今は宏壯な邸宅を構へて居る所も何年か前には住む家も無く僅に莚を敷いて假の天幕を張つて寢たら夜中暴風雨が襲つて天幕は吹き飛ばされ、ズブ濡れになつて妻子相抱いて泣いたとか或は又貧苦の間に妻は重い病の床に就いたが碌な看病も出來ぬ間に死んでしまつたがさて其の時財布には僅かに明日の生命をつなぐ一弗半の金錢しかなくて葬式を出す事も出來ず愛妻の遺骸を前にして血の淚を流したとか云ふ歷史を持つた地であるから決して本國へ歸る事を思はず永住の地と定めて働いて居る（つゞく）

◈美馬天地眼氏 一月來京滯在一箇月餘に渉り人の運命の鑑定に從事上下を通じ多數の依賴者あり多人の好評を博せる骨相家命相家美馬天地眼氏は五日朝元山に向ひ同地へ一週間滯在の後更に引き返し仁川にて四五日間滯在それより南鮮方面に向ふべしと

商況

東京期米時電

二十六圓十四錢

兵庫期米

二十六圓（？）

大阪三品時電

[illegible]

大阪株式時電

[illegible]

大阪期米時電

二六、〇八　二五九七

下關期米時電

[illegible]

雜報

◈綿絲布好勢 米棉六十一銘高 綿絲四六物三百五十五圓八十錢 綿布三十錢 十一圓二十錢方 四十六錢方の奔騰

◈正米思惑高 見越の思惑盛に鮮人間に時局 一日〳〵と相場 騰を促し 更に三四十錢方 昂騰

◈錫は品薄突飛 內地在荷の缺乏 尙一層 一圓方の奔騰 一躍十

◈大麥續て昂騰 移出口

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

◈京城筋の買物多 前日より四五十錢

◈小麥も暴騰 約三四十錢方躍進 又々六七十錢方

◈大豆躍進す 大に警戒の態度

◈白米又新高値 五十錢內外騰

◈洋釘強含み 亞鉛八番線 漸騰步調

◈二十七錢上 小賣値

◈水飴値上げ 二十錢方 賃勞示

釜山穀物（三日）

仁川在庫穀物

仁川期米

▲四日前場強硬 大阪天候曇り前 二十六圓〇九錢 一昨上より一錢 中二十二圓四十四錢 十八錢高 高寄付直に六十錢 新高值に沸騰 五十五錢 二十二圓 先二十二錢 十二錢 錢より五錢 跳 三錢

押し 五十錢 返して 大混戰大激戰裡に 強硬の成行 買物多く人氣沸騰 富限中限の上放れ 連に新規

▲今の態度 上富商店へ賣 二萬石は 大阪へ賣却 大部分買戾 契約以上の實彈

熱狂的昂騰 正米界の極 愈本腰

市場雜觀

仁川米豆取引所 四日の五月限

課題懸賞募集規定 懸賞規程

大阪期米 四日後場 仁川米豆取引所 四日の四月限 天候 曇り但小雨

△四日後場 大阪前止命後寄未著にて當地は當二十二圓四十錢より五十錢中四十五錢より五十錢先七十錢と二十錢
△市限一節二十二圓四十五錢九錢五錢四十八錢九錢五十錢平均値段五十錢二節四十八錢七錢六錢七錢八錢
十七錢平均値段二十八錢四節三十五錢四錢五錢六錢五錢四錢四錢五錢六錢五錢六錢五錢四錢五錢四錢五錢六錢五錢六錢七錢六錢五錢七錢六錢七錢

平均値段 一節 二十二圓六十一錢 二節 二十二圓六十四錢 三節 二十二圓六十二錢 四節 二十二圓六十五錢

大阪の鐵工場其の他に於ける 朝鮮人模範勞働團（上）

全羅南道巨文島出身の出稼人

▲巨文島 は全羅南道の南端麗水郡三山面に屬し戶數三百周圍十里に滿たざる一小島にして去る明治十八年英國が韓國の主權を犯して之を占領し同國の一軍港として經營六個年能く新文明の普及に努めし以來歷史上稍々一般の認むる處となりたるが其後英國人の同島撤去以來單純なる一の漁港として時に北支那へ航する鄕船が薪炭類積載の爲めに寄港する外何世人の記憶に存する事なく殆ど之を忘却せられ居る狀態にありたるが由來同島民は頗る貧弱なる

▲半農半漁 の民にして辛じて其生計を營み居たるが近時同島民の主漁たる鰯の漁獲甚だ乏しくなり加ふるに兩三年前の暴風雨に罹り同島民は殆ど饑饉の境に陷り遂には全島を擧げて本陸に移住するの外策の施すべきもの無きに立ち至りたるが此秋に際し擧て同島第一流の兩班金相淳氏其他の有志より約二千圓の寄金を得其の一部を以て校舍を建立し剩餘金の利息を以て維持經營しつゝありし巨文島私立普通學校の卒業生中有志の士兩三者相謀り之を救濟するには金錢を得るの途を講ずるの外無しとなし

▲決然故鄕を立て 大阪製鐵所の職工として勞働に從事するに至りたるが之實に大正三年の事なり然るに其後成績極めて良好にして之等二三の者より月々故鄕へ送金するを得るに至りたるを以て故鄕に在りし青年の中には多數之を志望する者を出すに至りたるが時恰も第一回に渡航したる彼等の歸鄕するありて詳細大阪に於ける狀況を聞き得たるを以て何れも出稼の念を益々鞏固ならしめ其後該學校卒業生を中心とする同島青年の出稼數は頗る多數に昇り近時大阪鐵工場に於ける者のみにて百六名に達したるが固より彼等は他の鮮人出稼者と其の選を異にし專ら

▲故鄕の危難を救ふの決念以て 心を有するもののみの團體とて從來屢々耳にする鮮人勞働者の通弊とも見るべき放縱無賴の徒一人もなく一方雇主其他に對しては極めて忠實にして德義を重んずるのみならず勤勉力行能く己が本分を守り加ふるに晝は勞働に從事し夜間少しの隙を利用して專ら修學を怠らず現に今春同地工業夜學校を卒業する者數名ある由なるが尙彼等百六名の團體は相一致して三山面勞働者救濟會なるものを組織し疾病負傷者等に對する救助を與ふる外

▲一定の規約 を設け（一）勤儉貯蓄修養讀書研究を爲す事（二）絕對に飮酒、賭博、遊興等を禁ずる事等嚴重に之を履行し若し團員中之に違反する者ある時は團體を除名するのみならず之を鄕里巨文島の有志より成る委員會に報告して其者を鄕里に呼び戾さしめ相當の懲戒を加へしむる事に決し殊に彼等三面山團體の幹部とも云ふべきは他の鮮人勞働者の如く五錢十錢の賃銀に左右されて雇主を更へ又は多少の食物に迷ひて下宿を更ふる等の事なきを約せるにある

◇跳塔祭の怪物◇ 寫眞は怪物の生やさしいところ、本物はまだ〳〵西藏、蒙古式の恐ろしい奴が飛び出す。それが何れも喇嘛の奏樂につれて踊り出す。踊りの意味は百獸が釋尊に歡喜畏服したところを示すものといふ。

奉天皇寺の「跳塔祭」（二）

元は西藏の邪神教 牛頭馬頭のお化

◇喇嘛教 は朔北の教へとは云ひながら供物も器具も悉く日本のお寺で見る通り宗教上から見た日本人と蒙古人はその間に非常な理解と暖か味がありさうである もと喇嘛教は佛教の一派、第七世紀の中葉、印度から支那の西藏に傳りこれに西藏固有の神話や邪神が混つたものといふことである。されば大本山は無論西藏の拉薩に在るが滿洲あたりのは主として外蒙古の庫倫がそれである。閑話休題、さて大殿場に控へた大喇嘛の前には音樂隊の太鼓や銅鑼が盛んに響きまた龍旗や消防の纒が物々しくならぶ頃を見計らつてプラ〳〵と法螺貝の音がなりひゞく、聲に應じてピョコ〳〵と飛出したのが牛頭面の怪物二人此二つは何れも白い著物で盛に躍るのがこれも二つの黑鬼の面、獅子の面、その次ぎはまた象の面、獅子の面、お次ぎにまた鬼が出て彼の怪物が跳り出る。かくする間に再び十數人の大怪物が繰り出して結局喇嘛僧と一緒に舞ひ納めることとなる。その間の躍りぶりやさす手ひく手の研究はハムレットの坪内士行氏にでもお願ひして喇嘛は再び旗さしもの物々しく更らに廟の周圍を西方から廻る

◇是は叩頭 誦經に亞ぐ「般」の行事であつて喇嘛教もこれを行ふのである。途中西方さ北方さ東方の順に、讀經して米を盛り孔雀の小を供物にそゝぐ。廟の周圍を一めぐりして踊れば更らに大佛殿で讀經を行ふ。途中井塔の小佛像は終始車で曳き廻され時々支那人の額をぶちつける者を見たがこれは多分頭痛でも治るといふおまじないであらう。式が了ると今度はまた大佛殿の方の家で又話がある。式は大喇嘛を正面の中央にすゑて百人ばかりの喇嘛が一様に西藏語の經典を讀む。その中には若い美少年の新沙彌（シャビー）もあつた。式が了つてから又衣の喇嘛達は皆一様に騎馬でかけ出した。因みに

◇奉天の皇寺 はむかし滿朝の菩提寺で北京の雍和宮と共に皇室の信仰厚き寺であつた。滿朝は喇嘛の懷柔によつて北方の強狄を猫のやうに手なづけたといふ。喇嘛は蒙古人崇拜的であるから蒙古で仕するには喇嘛の勢をも重視するを許さぬ。約りに喇嘛の面貌は何れも日本人にそつくりなのもなつかしく思はれた（完）

平壤の教育界

鮮人側に於ける現況

平壤府內の人口增加と共に逐年普通學校の入學生增加しつゝあるが當年は殊に入學志望者多く第一普通學校は現在十一學級生徒六百人卒業生九十人新入生二百人第二普通學校は現在生徒三百七十人八學級にして今期卒業生四十人新入生百名女子普通學校は在生徒數三百名にして六學級卒業生二十名新入生百名なりと又官立女子高等普通學校は本年度卒業生廿七名新募集に本科五十名技藝科五十名計百名也

平南の畜産額

平南道に於ける客年畜産物の產額を見るに牛皮改良乾皮十三萬八千百四十斤八萬二千四百七十四圓、在來乾皮三十四萬一千二十四斤十九萬九百七十九圓、牛骨六十二萬七千六百二十一斤二萬三千二百五十二圓、牛脂十一萬一千四百五十三斤二萬四千九百六十三圓にして前年に比し著しく減少せしは畜牛數の減退せしに起因せり又豚毛は六萬三千六百七十七斤一萬九千四圓、豚脂八萬五百八十七斤二萬六千三百五十八圓にして牛皮類に反し著しく增加せるは牛價暴騰の結果屠豚多きに因るものなり

木材運搬至難

鴨綠江上流一帶の地は本春に入り降雪甚だ少き爲め長白府十三道溝八道溝方面は流筏材の運搬極めて困難にして昨今江岸に搬出せる木材頗る稀なる狀況にあれば本年解氷後と雖も流下材は昨年の四千餘臺に比し其半減を見るやも計り難く斯界一般に杞憂の念を抱き居れりと

枕木の伐採高と吉林の木材界

爲に未曾有の活況を呈す

本年中の吉林枕木伐採高は既報の如く約三十萬本の豫定なりとは既に結氷以來橇の運搬によるもの現在十三萬本に達し未曾有の好成績を示せり而して從來長春に於て驗收したるもの吉長線の改訂に伴ひ驗收は元より引渡しも吉林にて爲すこととて斯業者の便宜一方ならず滿鐵にては無蓋貨車五六を仕立て毎日松花江岸の引込線にて枕木の積込を爲す等吉林材木界は爲めに新現象を呈せり

鴨江運輸會社

鴨綠江運輸會社は鈴木商店を中心として企て此の程申請書中訂正を要する箇所ありたるを以て直ちに訂正再申請の手續を終了し且つ創立後社長に擬せられつゝありし小川德長氏も既に來安の上準備を整へて歸りたれば已に數日後には創立許可の指令に接すべく左すれば本月二十日迄には創立總會を召集し各手續を完了し直ちに營業を開始すべき方針なりと

牛價暴騰と鷄豚

昨年來生牛の暴騰は實に甚しく殊に本春に入りて一層强硬を保ち肉の如きも漸次暴騰を唱へ居れる結果比較的低廉なる豚鷄肉の需要增加し農家に於ても飼養するもの激增し今や平南道に於て豚六萬二千二百五十六頭鷄三十五萬八千二百三十餘羽の多きを見前年に比すれば豚一萬四千二百餘頭鷄六萬六千百餘羽の增加を示し居れり尙道にての改良種奬勵の効果著しく本年は更に增大すべき見込なりと

日支親善の急先鋒は

言語の疏通を ◇計るに在り◇

日支親善の急先鋒は言語の疏通を計るを急務とし滿鐵地方課に屬する公學堂は沿線各地に設けられ支那人子弟に日本語を盛んに敎授し居り既に吉林にても數年前設立以來日本人には支那語を支那人には日本語を…へ來。しに今回新に中島氏に氏遊說より著任して教鞭を執ることゝなり日本語の新學期開始に先立ち三月一日より生徒を募集し九時までにて又た支那語を每夜七時より入學隨意なりと

長春より

◇滿洲製粉の今回の增資は何分期に於て十割の純利を揚げたる株なれば內地に於ても大分好景氣を以て迎へられ居る模樣なるが、當長春に於ても株式の公募あり。滿粉の今日を以てすれば何もわざ〳〵當長春如き金融の逼迫たる土地にて目くされ金を集むる必要もなかるべしとも思はるれど、當地の製粉工場は一晝夜二千八百袋の製造能力を有する程度の工場なればと其の據下たる長春に對して御裾分けと云つた所なるべし、當地新聞紙にも公募廣告見えたり。而して今回增資四萬株中公募株式は僅か一萬株なるを以て當地人の申込に對して果して何程の割當が來るや知れざれ共、兎も角今日迄同社の最大工場を有する長春にて同社員外に株主の一人もなかりしに對して爾後は昨者接近の機會多きに至るべし

◇先般來屢ば報せし如く會社熱は果して長春の眞の要求に由るものなるや否や俄かに判明し難きも兎も角今日に於ては底止する所を知らざるものにて、目下相談中らしきものに土地建物に關するもの二件もあり、又醬油釀造の會社をも計畫し居るものあり。然れども斯くて景氣に見ゆる長春も所謂當地資本家なる者の個々の金融力に想到せんか、近來續出せし會社の株主にして諸株を篋底に藏し置くもののあるや否やは頗る疑問なりと云ふべし

今年の吉凶（下）

▲海運——新造船の九三髮——尙上…激浪怒濤、囲ふの若艱あらんも秋來…奏功を見るの象あり

▲支那——水雷屯の上六髮——急に南北分裂するが如きことなかるべく而して本年の農作は頗る饒ならん

▲頭米——井嵒す——（一）炎米騰さもに凶兆なく（一）筋斷には豫期せざる吉藤味るべき兆あり

▲財界——折路す——（一）株式は上下離がる如くにて其の安かるべく、下半はなきが如くにて其の實高く激して持合ひの機に超年すべし（一）綿糸は低からざるべく（一）生糸は輸出盛んにて時々支那の値を出すべく（一）船舶界は不年に倚ほ昨年に倍すべき好況ならん

▲鑛——天水訟の九五髮——…せらるべきも明年方には平和の局を…

▲鑄造——水火既濟の上六髮——…にして總め吉にして終り危ぶる兆あり

演藝案內

大正館 電話八七三 全三卷 大活劇第五卷「鐵の爪」四卷 滑稽「デブ君の浮氣」二卷 新派悲劇「己が罪」全六卷

黃金館 電話三六三七 全五卷 大活劇 人間の戀 新派劇 悲劇「大正の孝女」全一卷

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 毎夜六時より開演 落語手踊（遊玉）▲落語音曲（天二）▲落語手踊（三輔）▲落語香曲（北輔）▲落語大切（總出）

有樂館 全四卷 黃金窟 全五卷 惡魔の勘定日 社會劇 外史傳慶安太平記 全五卷

倉庫完全 債券買入 杉本質店 京城黃金町 電話二一〇三番

診察 自午前八時 至午後九時 內科 小兒科 京城南米倉町 岩崎醫院 電話一七六一

紳士の頭髮を飾る 高等煉香油 二葉ポマード 大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

東洋園藝株式會社 東京新宿

岡本齒科醫院 京城本町一丁目

女生徒募集 新學期開始四月十日 梅光女學院

時計貴金屬指輪眼鏡商 三浦天龍堂 京城本町二丁目

職業 日收壹圓 特約店募集 二葉商會本店

資本金壹百萬圓 諸積立金參拾萬五百圓 株式會社朝鮮商業銀行 京城南大門通一丁目 一般銀行業 倉庫業 頭取 趙鎭泰 支配人 豐田明敬 南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 群山支店 東大門出張所

拜啓時下餘寒の候に御座候處益々御清榮奉大賀候陳者弊店儀… 大正七年三月 京城本町三丁目 墨メリヤス店 電話一六二五番

京城旭町二丁目 內科小兒科 小林醫院 醫學士 小林千壽 入院隨意（普通病室並に隔離病室） 電話六九二番

成金たるべき唯一の秘法 株式賴取の有利確實なるは世人之を知ると雖も其實際取引方法に暗し即ち弊店內の「株式賴取同盟會」につき之を開け其途に成金たらんとする唯一の道は開かれたり！ ●申込次第「株式賴取成金法」呈上 東京日本橋區中洲町 コガ子屋株式店 電話浪花四〇二八番

優等淸酒 賀茂鶴 醸造元 廣島縣西條町 木村靜彥 發賣元 京城府鍾路（中央市場）河野酒店 電話二三〇八番

謹啓各位益々御隆盛之段奉賀候偖而塗料品類著敷暴騰の爲ペンキ塗、坪單價左記の通り改正仕候條此段謹告候也 京城府ペンキ塗請負業組合
一 ペンキ三回塗 金壹圓八拾錢以上
一 生漆二回塗 金廿五錢以上
一 看板 椽無（三尺に六尺）金四圓以上
一 看板上等椽付（三尺に六尺）金七圓以上
一 看板白塗椽（三尺に六尺）金貳圓八拾錢以上
外に看板文字記入代三尺に六尺に付五拾錢也

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一三七九

塚原卜傳

第六席

悟道軒圓玉口演

塚原小太郎は老人に聲を懸けられて立止り　小『如何にも大黒堂に參る者でござる　老『イヤ其れは惡るい事はいはねから止しなさい、隨分武藝者が當山へ登んなさるが仲々及ぶ處でない、大黒堂の別當膝丸入道圓海は仲々の達人で、殊に二百八十人の山伏何れも伎倆の勝れた者ばかり、今まで登山した若い武藝者一人として生て歸つた者はございません、お見受け申す處まだ御若年のお手練、迚も及ぶ所でないから俺と一所に下山さつしやるやう……　小『イヤ御道理は忝けないが少し望あつて登山した者、及ぶか及ばんか知らねが是非とも大黒堂へ參らねば相成らぬ　老『左樣でございますか其れでは據ない、まア氣を付けてお出でなさいまし』と親切な老人の言葉、小太郎禮を述べて行過ぎる、振返つて見ると未だ老人佇んで見送つて居る樣子、さては山中で數多の武藝者が命を落したものと見ゆる、憎くむべきは膝丸入道、臍骨傲慢に打碎いて數多の亡者の妄執を晴して遣はさねばならんと小太郎勇氣凜々として一息に坂を上り森の中を拔けて騰て出て來ると道場の前、生木と生木を合せる音が聞ゆる　小『坊主の癖に道場を立て生意氣な眞似をして居ると思つて　小『頼む／＼　○『ドーレ』と一人の弟子が出て來て　○『何れから……　小『拙者は常陸浪人仁科與四郎と申す者、大先生の雷名を慕ひ登山仕りまして何卒一手御指南に預りたく……』　○『久時お控へ下さい……先生に申上げます、只今常陸浪人仁科與四郎と名乘る若き修行者が先生と手合をしたいと申して參りました』　圓『左樣か道場へ通せ　○『ハッ』取次が立出で、○『此方へ　小『御免』案内に隨つて小太郎勝義、例の木劍を携へ道場へ通ると十六間四面柱なしの大道場、二十五六人の修驗者がズラリと居並んで居る正面の所に座を構へて居りますのは例の膝丸入道左右に毘沙門堂の潮海辨天堂の龍山龍王堂の金山を初めとして何れも一粒選りの劍法者、肩臂張つて控へて居る、其中へズイと進んだ小太郎　小『常陸浪人仁科與四郎大先生には初めて拜顏仕る、一手御教授下されば有難き仕合せ……　圓『イヤ能うこそお訪ねなされた如何にも御指南申すでござらう、併し當山の法として門人二三名お手合をいたした後……　小『如何にも心得ましてござる』　圓『第一番に能登坊雲海其れへ　立出で木劍をヤツと構へる……、小太郎は例の枇杷の木劍を横に取つて一文字に付けた、此時分には面籠手は餘り用ゐず素面素籠手であります、其上竹刀でなく木劍勝負でありますから今考へて見ると頗る危險、圓海小太郎の構へを見ると世にも珍らしい横一文字、神陰流では殿といふが圓海は初めてのこと不思議に思つた、ヂリ／＼と詰寄る中に能登坊雲海如何なる隙を見出したるか一喝叫んで打ち込む木劍、左知つたりと小太郎右手に拂ひ上げ、取直さうとする所を踏み込んでピシーリ、肩口を輕く打つた積りだが無双の達人塚原に打たれたのだから雲海バサーリ仰向樣に打倒れ、其儘〆時は起上ること能はず　小『サアお次の方、お立出下さい』と聲を懸ける、心得たりと第二番目に讃岐坊智海、同じく木劍を携さへて躍り出で、ヤツといつて身構へたが、小太郎の目から見れば小兒に等しく、エイツと大喝して二三合打合ふよと見る間に飛鳥の如く飛込んで讃岐坊の右の腕の付根へ木劍を突入れ、一聲叫ぶとポンと撥ひ上げた、武藝の妙といふべきか大兵の讃岐坊猛勢を喰つて三尺ばかり飛上り、翻筋斗切つて仰向樣に打倒れ、ウーンたいふと目を眩した樣子、圓海を初め並居る面々アツとばかりに打驚ろいて久時は言葉もなし。

名聲いよ／＼高く信用ます／＼厚き
高麗人參エキス
京城府明治町一丁目　電話一九四八番　振替京城三七五三番
小笠原大藥房
大阪支店　大阪市西區市岡町二七一

毛皮なめし並に**仕立**
鳥獸剝製調進修理　鳥毛羽根布團製造　猛獸毛皮類買入
京城本町二丁目　貿易商　**樽元商行**　電話長二〇六五番　振替京城三〇九九番

三月六日　九星
舊正月廿四日　亥子
本命　一白　北　閉　赤口

▲一白●苦情たら／＼の事有卦萬事見合せ方よし▲二黑●當にならぬ事有目前は吉▲三碧●手控萬事は吉用ゐに用ゐせらるべし▲四綠●有益の日轉居は吉▲五黃●注意のあわぬ事有目前は吉▲六白●大美の日轉居は吉▲七赤●高尚なる日轉居開業旅行吉▲八白●願の逸れる事▲九紫●不自然の事有目前手控肝要に注意せらるべし

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事の書た詳しい本を無代進呈す
名古屋市南小川町一　救生館

わきが
特效藥ファーザーを御用ひあれ他の藥を用ひ効なき方にて今迄彼是
定價六十錢一圓　京城黃金町三丁目　山田文殊堂藥局　電話二九四九番

蛇印　アンチピリン丸
かぜねつ特效藥
▲求めよ!!　▲用ひよ!!　▲なをる!!
◎感冒◎ねつ◎流行性感冒◎頭痛◎麻疹◎リウマチス◎おこり
◎本劑の特長は最新高貴藥の配合◎絕對に副作用なし◎胃中にて溶け易し
十錢　十五錢　廿五錢　五十錢　用他金五拾錢
本舖　大阪　東京　丹平商會　賣捌は全國各藥店

りん病　ばい毒
一週分　梅毒　淋病　特製　普通
京城永樂町一丁目交番北　ドラッグ商會本部
龍山漢江通三角道北　東京ドラッグ商會支店
仁川仲町三丁目　東京ドラッグ商會支店
群山明治町通　東京ドラッグ商會支店
沙里院西里　東京ドラッグ商會支店
羅生驛前町　東京ドラッグ商會支店

東洋一　新形流行の魁
內田式ストロング靴　堅牢優美　價均一割低廉　保證す
御旅行用　**靴と鞄**
定價表贈呈　東京市芝區　內田靴鞄製造問屋　電話一五五一　振替一八七二

賛化病院
京城明治町一丁目　電話二四四丁
內科　小兒科　入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治

朝鮮總督府營林廠大口取引
◆**木材は營林廠**
▲價格低廉
▲寸法正確
▲品質良好
弊店儀今般朝鮮總督府營林廠大口取引の認可を得同廠木材の販賣を開始仕り候間精々御引立奉上度此段謹告仕り候也
朝鮮總督府營林廠大口取引店
合名會社　**鈴木商店**　京城支店
京城本町二丁目九十二番地
電話長一三四七番
電話長一四二二番
電話長二二九二番
電話長二九四〇番
振替口座京城三九五一番
受信略號ケイゼウカネタツ
發信略號(タツ)又は(タ)
◆**愈々建築期節來る**

天覽台覽
蘇峰文選
發行所　東京　民友社
總クロース上製函入　菊版一千五百餘頁　定價金三圓五十錢　特價金三圓　郵税二十四錢

明治大正年間の一大產物!
本書は國民新聞創刊二十五年記念出版にして、蘇峰學人が三十年の記者生活に於ける、努力の代表的傑作の結晶たると共に、文章經國を以て畢生の天職とする、學人彼れ自身の活歷史たるのみならず、又た一部の政治史也、國力發展史也、文學史也。社會行也即ち明治大正時代の反射鏡也日本國民必讀の教科書、精神的修養の糧食、深雅なる趣味の涵養所有ゆる文章の模範也、孟子の所謂る集めて大成するとは、本書の謂也、本書の如きは眞に天下必傳の書、と謂ふ可く、發行以來江湖の大歡迎を博したる決して偶然に非ざる也。

朝鮮鑛石學及採鑛法
安蘇善四郎著
四六版二百五十頁　並製壹圓貳拾錢　上製壹圓四拾錢　送料六錢
▲附錄　有用鑛石鑑定表、朝鮮鑛業令▲
本文には探鑛法、鑛山發見法、鑛石分拆鑑定法、各道地質鑛脈、鑛山所在地
鑛物に關する一切に渉り初學者にも一讀了解し得る樣叙述せり當業者諸氏の是非參考書也と信ず
發行所　京城本町二丁目　電話二五三七　振替京城二二三　ウツボヤ書籍店

朝鮮漢方藥料植物調査書
鷲峰
朝鮮總督府編　發行所　京城本町二丁目　電話二五三七　振替京城二二三　ウツボヤ書籍店
四六版洋裝　定價九拾錢　送料六錢
本書の公にせらるゝや學校、病院、醫生、藥店植物栽培採集者より大好評を以て迎へらる
漢方藥料植物には原名の外鮮名、効用、產地、附錄には漢藥價格表を付す朝鮮に於ける唯一の藥用植物書なり
賣捌元　京城日報社代理部　京城太平通　振替三〇〇番

古著古洋服　諸物價格當り折々精々不拘電話は御早速御伺候
又はハガキにて御呼出し下され度買受候可申候
あはじや　京城本町二丁目　**江頭衣服店**　本店 支店 電話二三一五番　九一一番

朝鮮總代理店　京城本町四丁目　日神洋行　京城南大門外　日神洋行支店
新田帶革　耐水調帶　ムラタ調帶
定價表申次第送呈

最新流行　時間正確
▲瑞西國製　實用ニッケル側腕專用時計　特價金六圓
▲瑞西國製　實用銀側腕時計　特價金七圓
向任金側懷中時計最新流行品取揃居候
京城太平通一丁目　京日代理部　振替京城三〇〇番

花柳病外科專門
梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎痳病◎皮膚病◎婦人病◎肛門病◎ヒステリー
(909)　京城南大門通農工銀行裏　**司生堂醫院**　電話三〇六五番

春季各種品揃
種子　苗木　農具　蠶具　肥料
例年の通御引立奉願候
京城府本町三丁目　朝鮮に於る種苗店元祖　**京城勸農園**　電話七〇四番　振替京城五〇六番
營業案內種苗の部蠶具の部御入用の分文を送ります

男のひみつ病
名譽大金牌受賞　**無代進呈**
東京順天堂病院始め多數博士大家御證明全國發明品投票に優等當選全快證狀如山
專賣特許手島式眞空療法器は何人も自宅で簡單に卓効ある陰萎不完全早漏神經衰弱包皮等を療する療法說明書をハガキで申込めば無代進呈
東京京橋本材木町三ノ廿五　東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地　大阪新療法研究所
京都下京區魚棚停留所前　京都新療法研究所

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目　**山邑京城支店**
電話八四一　四五九　九四番　振替京城五七番

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町　**朝鮮肥料製造所**　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　**朝日石鹼製造所**　電話二九五六番　振替口座京城六〇〇四番

京城電氣會社製特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　**島田忠作商店**

滿天下の賞讃を博したる人參エキス
定價內用
△七日分金五十錢　△十四日分金壹圓　△三十日分金貳圓
△四十七日分金參圓　△八十五日分金五圓　△百八十五日分金拾圓

陸軍御用　元祖
人參エキス
朝鮮高麗人參(白參尾參)直取引貿易商
京城本町一丁目　人參エキス本舖　**津村兄弟商會**本店
電話一四八〇番・振替京城三五一一番・取引百三十銀行
朝鮮釜山大倉町　電話三九四番　**津村兄弟商會支店**　釜山支店　京釜線大邱驛前　大邱支店
特約店
京城本町二丁目　山岸天佑堂　京城本町二丁目　北島藥舖
京城本町四丁目　木村藥舖　其他朝鮮全道四百十ケ所
日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに迄速申上候

品質優良藥効の顯著なる人參エキス

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎
株式會社　**百三十銀行**　京城支店
京城本町壹丁目　電話長五八番　貯金　振替京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

汽車發着　京釜線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　湖南線(南行)　同(北行)　京元線(北行)　同(南行)　京仁線(仁川行)　同

京城日報
第五版
三月五日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

ウ氏教書賛成 余はウイルソン氏が二月十一日の教書中に宣明したる四大原則を認め其基礎に[illegible]世界の最高裁判所に訴ふ可しと主張するに於ては斯の如き裁判所は尚不公平のものとして拒絶す[illegible]現に公平無私の仲裁者所の[illegible]吾人の戰爭目的は最初より祖國の防衛領土保全の維持及び經濟的發展の自由に止まり隨で我軍の目的は全然防衛的にして現に[illegible]自治せしむ可き機關を創設せんと[illegible]ニアに就ても是等の國をして自決[illegible]大綱に付き合意ありたる大第なれば講和近々成立するに至るべしルーマニアとの講和條約[illegible]解成立すべく獨逸としては其國境[illegible]ポーランド人を激昂せしめたる[illegible]の讓歩に依り和[illegible]なるも各當事者[illegible]正理の疑に耳を傾くる[illegible]商側は開戰當初より征服[illegible]なし至る者也畢竟アルザスローレンの如きは國際問題に非ア[illegible]

帝國の危機(下)
社友の一人

△聯合國の現狀

顧つて吾が聯合軍側を見れば一喜一憂と云はねばなるまい。最後に聯合軍側に加はつたる羅馬尼は今既に獨逸と單獨講和の評議最中である。伊太利は天下の弱兵と呼ばれたる墺軍にさへ、打勝ち得ざるのみならず、昨年の秋は大敗北を爲しヴエニスも既に敵軍の占領に委すべき運命に、一時は迫つた程であつた。今では英佛の援軍も出で來り、幾らか形勢を立て直した模樣に見ゆるも、その人心の沮喪は爭ふべからざるものである。但だ老政治家ソニノ外相だけが、聊か他の聯合國の將相と步調を揃へて居るやうに見ゆる。佛國に至つては精限り根限り戰うて居る。併し如何にその人心が戰ひに疲れて居るかは、前首相カイヨー一派の平和運動でも卜せらるゝのである。カイヨーは一個の大山師とするも、彼の連累には、歷代の內相たりし、マルヴユーなどもあることから見れば、その仲間が、案外少數ではないかの如く思はれる。英國では一昨年の暮、アスキスの聯合內閣の待つて居れ、何うにかなるであらう的の政策を齒痒く思ひ、取つて之に代りたるロイド、ジョージは、卽刻實行主義を標榜し、政黨政派を無視し、人材內閣を組織し、大に天下の人心を一新したが、口程に手が廻らず、滿一箇年經過の後の棚卸し勘定をして見れば、アスキス內閣と左迄の相違もなく、昨日までジョージ出でずんば蒼生を奈何、と呼んだる新聞記者迄が、今や、蒼生ジョージを奈何、と云ふまでになり、その影も日一日と薄くなつて行きつゝある。それに昨年の初冬ランスダウンの意見なるものが新聞に出で之が爲めに英國の政界にては、時ならぬ波瀾を惹起した。彼の投書は、つまり戰爭の永引くは敵味方双方の不幸であれば、大槪の所で切上げたいと云ふ趣意に外ならぬのである。然るに此の意見は、ノースクリツフ一派の新聞には、極めて評判惡しきも、英國の智識階級、富貴階級、中流階級には、これを歡迎するもの尠なからず、在野黨の首領アスキスの如きも、實は內々同腹らしく思はるゝ節なきにあらず。されば、ロイド、ジョージの責任の重大と共に、その位地の困難なるとは、同情に餘りある次第である。

△帝國の自覺

要するに今日聯合軍側では、米國のウイルソン、英國のロイド、ジョージ、佛國のクレマンソー、伊太利のソニノ、小國ながらも希臘のヴエネゼロス抔と云ふ連中が、何れも戰爭の氣分を、十二分に緊張させてやつて居る。所が吾が當局者は如何であらうか。賢明なるべき彼等の事であれば、何かコソ〳〵やつては居るだらうが、議會で質問しても、今は其時でないと云うて答へず。鼻毛に火が點いても、鼻の先に燒火箸を突付けても石地藏同樣、平氣の平左であるが如き情態は決して吾が國民の元氣を鼓舞し、國民と共に國事を擔當する底の處置ではあるまいと思はる。一口に云へば、日本は今や獨力東漸、米力西漸の中間に挾まり此儘に立行かば、吾邦は恰も此の二大強國の間に介在して、恰も鐵板と鐵板の間に綿を置きたるも同樣、煎餅の如く押し潰さるゝであらう、とより外に見當は付かぬのである。吾等は米國の外交振りに逐一感服するものでは無い。併しながら彼等が武藏坊辨慶の如く、無遠慮に突進する傍に於て、吾邦の外交は如何であらうか。機嫌氣褄、心配苦勞……云ひたい事も云はず、仕たい事もせず、お姫樣然たるの態度を持し、此の驚天動地の一大時機に於て何等爲す所なく、茍且偸安、一日の泰平を粉飾して、此重大なる時機を經過するは、果して國民の辛抱し得べきことであるべきや否や。此儘で經過すれば、事は明白である。支那も、西伯利も、獨逸の勢力の下に歸せざれば、米國の勢力の下に歸するであらう。或は双方相持の勢圈になるかも知れぬ。何れにしても、極東に於ては、我日本の立脚地は、全滅とは云はぬまでもこれに近くであらう。是を思へば、吾等は寸時も安心は出來ぬ。一刻も油斷は出來ぬ。僅の金を儲けたりとて有頂天に逆せ上がり、成金氣分を漲はせ、世界が命懸けにて、活動しつゝある際に吾々は鼻唄うたひつゝ、酒宴して暮すが如き情態は、極言すれば亡國の前兆と云うてもよからう。吾々は西伯利出兵とか、支那南北調停とか云ふ議論を、今茲に繰返すものでは無い。議論は疾の昔より極つて居る。今日は議論の時代では無い、實行の時代である。吾等は是非我國民が戰爭氣分にな[illegible]政府を鞭撻して此の極東千載の機に際し、我が帝國の大使命を果さねばならぬと思ふ。

遊支偶錄
蘇峰生

(四五) 財力統一

如何に支那合衆國が出で來りたればとて、中央政府の存在は必要也。中央政府の存在が必要なれば、之を存在せしむる要件たる精神的、財力的、兵權的統一も必要也。但だ此事たるや、一朝一夕の業にあらざる也。先づ目標を定め、此に向て漸次に進行す可きのみ。併し焦眉の急とも云ふ可きは、財力の統一也。財力統一の前提としては、幣制の統一より先なるはなし。而して其の統一の(第一)は、全國を擧げて、混沌、亂雜、錯綜せる通貨を、整理するにあり。我國に於ても、維新政府の最も骨折りたる、財務改革の一は、藩札引換、貨幣統一にありし也。而して支那の面倒は、此に幾倍するや、未だ知り易からざる也。(第二)は斷然支那に向て、金本位制を施行する事是れ也。支那は銀本位國にして、日本は金本位國也。今日に於て、日支間の經濟同盟を沮害するもの、此の本位の異同より甚だしきはなし。銀貨暴落すれば、日本貨物の支那に輸入せらるゝものは、勢ひ高價たらざるを得ず。銀貨騰貴すれば、支那貨物の日本に輸出せらるゝもの、勢ひ高價ならざるを得ず。高價になれば、賣手は利益なるが如きも、其の勢の極まる所、買手を減ずるが爲めに、貿易不振とならざるを得ず。而して此の通貨價格の變動を見越して、何れも危惧の念を懷き、思ひ切りて取引をなし、若くは大膽に資本を卸す事を差し控ふるの結果を來たす可きは、必然の理也。勿論銀價の變動の爲めに、一方に奇利を博することあれども、一方に奇利を博する者あれば、他方には奇損に痛めらるゝ者なき能はず。而して其の動搖を奇貨として、奇利を博せんとするが如きは、一種の投機商賣にして、正經の商業と云ふを得ざる也。而して金銀價格の變動によりて、其の害を被る者は、日支間に止らず、世界對支那の關係に於て、概ね然る也。

錺(九)
布施生譯

それから二月ばかり後の事、[illegible]井女學士は馴染の或る公爵夫人から馬車を借受けて銀座と云ふ所の遠まで出掛けた。馬車は珍らしい硝子馬車と云ふので物見高い巴里子はそれを見やうと押寄せて馬車が橋に掛つた時分は馬の足掻も屆かぬ位人垣が立つた、馬車は人を掻分け〳〵今や橋の袂に差掛らうとする途端、橋の向側が何だか騷がしくなつて、見ると若い男が一人群がる人を突退き押退け飛上らんばかりの勢で此方をさして走つてくる、呆氣にとられてゐる間に馬車に近づくと、其男は喘々入口をあけて慌しく手紙を一通衣兜から引出し其儘學士の膝元に投出してあつと云ふ間もなく又もや群の人波に身を隱した、學士のお伴をしてゐた仲働の銀女は男が手紙を拋込む途端不圖其顏を見るや否何に驚いたかうんと一聲其儘に氣絶をしてしまつた。學士は不意を喰つて喫驚しながら馬車を止[illegible]かうと鈴索を引いたが御者は何と感違へをしたのか無暗に馬に鞭を加へたので馬は白泡嚙んだ口に嘶して前足を高く擧げると見るまに恐ろしい勢で駈出した。人波は泡を食つて一時にぱつと崩れる機會に二三人尻餅をついた者もあつた。學士は無暗に搖れる馬車の中で銀女を膝に抱へながら急いで懷中から匂の高い嗅煙草を出して銀女に嗅がせた。銀女は間もなく正氣づいたが、正氣づくと眞青な顏をして主人に取縋り『何と云ふまあ恐ろしい人でございましやう、先夜怪しい僞を屆けに參りましたのもあの人でございましたよ。』精神の靜まらぬ銀女が色々と想像を逞しうして心配するのを學士は程よく慰めながら今投込まれた手紙を開いてみると

『私儀人知れずの間に御恩を蒙り御禮は詞に盡しかね候、さて先日差上候首飾及び腕輪の儀御手許にお置き下され候ては御身の爲に相成らざる事出來致し申すべく候、就ては右飾の儀至急何とか口實をお考へ遊ばされ、寺町輕地隆九まで御戾し遊ばされ度、尤も右は一刻を爭ひ候儀につき特に此段申添候、若し私の申上候事に御疑も御座候てお御返戾無之に於ては私儀御恩を蒙り候身に此後の御危難を見るに忍びず御面前に自殺して相果て申すべく候』

相變らず署名の分らぬ手紙であつたが書いた人の誠實は疑ひやうもない。學士は二三度讀反して思案したが何か深い仔細のある事と迄は察せられてもさて其仔細がどんな事とは流石智慧に富んだ學士にも分らない、可笑〳〵兎に角飾は返しましやう仔細は何れ後で分るであらう、學士は胸に問ひ胸に答へて家へ歸つた、銀女は一人心配らしく何處までも浮かぬ氣色であつた。

人の厚意をこそ受けもすれ別段首飾や腕環に執着の無い窈井女學士は手紙の言ふまゝに早速其日飾を返却に往く心算であつたが折惡しく訪問客が立込んで晩まで暇なく晩は又先約があつて他處へ招かれ氣には懸りながらも飾の事は到頭其儘になつてしまつた。氣懸りな所爲でもあるまいが學士の眼前には兎角昨日馬車に手紙を投入れた若者の青褪めた顏がちらついた、何だか見覺のあるやうな無いやうな、何にせよ自分とは關係の深い顏のやうに思はれる、其顏は其晩學士の夢にさへ這入つた、學士は何と云ふ事はなく人に賴まれた事を自分の怠慢からまだしないでゐるやうな厭な心持になつた。

翌朝になると今日こそはと思つて早くから飾を持て寺町の輕地の家指して出掛けた、馬車が其町へ差掛ると町は無暗な人立で口々に喧噪と中には大聲で『鬼め人殺め早くしよびき出して、打殺せ』と喚鳴る者さへある、學士は思はず胸騷がして思ひ當る事があつた、馬車を早めて近づくと騷の本は果して錺職の家で、表の人立は到底馬車が通れさうにも無い、學士は馬車を止めさせ降りて家に近づくと世に知られた學士の事とて流石の群集も學士に道を開いた、學士が誰にとはなく會釋しながら門を這入らうとした途端、奧の方からざか〳〵と大勢の足音がして八重搦みに引縛つた若い男を中にそれを押包むやうにして警官が五六人嚴重に繩の端を握つて引立てゝ來る、と見るまもなく胸を裂くかと思ふばかり鋭い女の泣聲が聞えて、得意貌に髯を捻りながら一行の背後について出る刑事頭の出幕の足に縋りついた娘があつた。

(◇雜誌抄)

◇皮ごと食へ‖玄米食と滋養(醫[illegible])

普通日本では三食であるが、勞働者以外は一食にしても一向差支ない我國の人は餘り上品過ぎる、豆腐にせよ、馬鈴薯にせよ、あの內面に[illegible]の滋養分を含んでゐるのだから、皮共喰べても胃腸を害しない、日本人は皆玄米[illegible]米と白米との滋養は、七と三[illegible]で十とすれば、玄米の中には七あつて白米には三しか無い(山脇博士[illegible]

募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として計畫發表したるもの。特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力ある提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。玆に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◆建坪　四十坪乃至五十坪迄　但し二階建設計の場合も坪が此制限より甚しく超過せざる事
◆家族　夫婦老人一子供三女中一計七人暮しの立案
◆提案　平面圖、正面圖、設計說明書等を具備す可し
◆工費　坪當り百圓內外とす
◆特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書
◆寒度　京城‖平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

(1)一人一案に限る‖(2)應募者諸君の提案標準は、應用者最も多き中流家庭の住宅を定則とするも、旅館、料亭等は特別建築として審査す‖(3)應募者は必ず一案の平面圖、正面圖及び之か設計書を附せられたし‖(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し[illegible]匿名若實へなし‖(5)締切期は來る三月十五日とす‖(6)發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計書、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す‖(7)應募者は『京城日報社編輯局防寒建築案係』とし封筒表に必ず朱書せられたし‖(8)提案謝禮は返戾せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の賞金を贈呈す[illegible]
一等(一名)金百圓　二等(一名)金五十圓
三等(二名)金十圓宛

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金六十五錢△郵稅一ヶ月金十五錢[illegible]
廣告料金 △五號活字一行[illegible]△七號活字[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話[illegible]

公告
金化地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一、大正七年二月十四日理事八木原辛太郎辭任シ同日左記ノ者任命就任ス
江原道金化郡金化面邑內里七統壹戶　土橋貞次
右大正七年貳月貳拾七日登記
京城地方法院金化出張所

一石炭(切込炭)百五拾噸
右購買ノ詳細ハ三月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

木材拂下公告訂正
貳月貳拾貳日本紙公告中公賣物件數量ヲ角尺貳八壹本此尺〆四百壹尺〆九四四ニ改ム詳細ハ三月五日以後ノ朝鮮官報又ハ前回公告ノ各官廳揭示ヲ見ヨ
大正七年三月五日
江原道

長篇講談　第三十編
柳川庄八
正價三十五錢　郵稅六錢
[illegible]
東京本町　博文館

◎勸業債券割賦販賣
◎公債債券現物賣買
◎有價證券擔保貸附
◎荷附爲替引受金融
◎恩給年金長期低利立替
京城若草町百六番地　西村商會
電話三千十一番振替京城六五九番
◉地方顧客の御便宜を計り代理部の設置あり京城に於ける御用辨は迅速取扱ひ可申候也

原料益々暴騰に付三月五日より
醬油貳割値上ゲ
仁川醬油釀造業組合

登錄商標
3G BRAND.
三ジー印
ゼラチン
本品は食料又は工業用として本邦製品中一頭地を拔ける優良品にして價格低廉なり(見本品贈呈す)
製造所　帝國化學工業合資會社
發賣元　大阪道修町　鹽野義三郎商店
東京本町　友田合資會社

弊堂創立明治二十八年
時計及蓄音器卸商
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目　喜多金光堂
電話一〇一五番　振替京城七八一

ワングル鞄
旅行鞄
乘馬具
馬具附屬品
製造販賣
京城明治町二丁目　古賀喜商店
電話一八三三番

鑛物分析
京城旭町一ノ七　鮮滿工業社鑛務部
電話三〇〇

同志社學生募集
同志社大學　政治經濟部◉英文科◉神學部
▲各豫科生募集ス入學志願者ハ四月五日迄ニ申込ム可シ
▲英文科卒業生ハ英語科中等教員無試驗檢定ヲ受クル事ヲ得
同志社中學　一年級百四十名募集
▲徵兵猶豫上級學校ヘ入學連絡其他ノ特典中學校ニ同シ
▲申込期限一年級四月九日限◉二、三、四年級三月廿八日限
同志社女學校　專門學部(英文科三年同豫科一年家政科三年)普通學部(五ケ年高等女學校程度)[illegible]小學校卒業ハ一年ニ入學ヲ許ス◉入學申込期限四月八日限リ
▲規則入用ハ郵券二錢ヲ要ス
京都市上京區　同志社

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
鑛業講習錄
新學期開講入學の絕好期目下入學者には特點あり
本校は最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を養成して人物拂底に苦しむ斯界に就職紹介す
◉校則は申込次第送付
京城府漢江通り十一番地　電話龍山四五三番
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

第四十回帝國議會 (東京特電)

貴族院 (四日)

▲本會議

四日午前十時五分開議諸般の報告後日程に入り男爵議員關義臣氏請暇の件異議無く可決し酒精及酒造税法中改正法律案、酒精及び酒精含有飲料税法中改正法律案、麥酒税法中改正法律案、所得税法中改正法律案、戰時利得税法案以上五案を一括し委員長柳澤保惠伯委員會の經過並に結果を報告し所得税法案に對し株式會社に於て脱税の虞あれば政府に於ても課税方法につき十分の考慮を盡されたしとの希望あり又戰時利得税に就ては左記の附帶決議を爲せり

附帶條件、戰時利得税法案を審査するに不備不完の點ありと思考するも今や切迫せる時局に鑑み之に協贊す政府は深く此點につき研究調査を遂げ近く相當の時機に於て更に改正を加へられんことを望む

一、即ち政府は右決議に對し考慮すべき旨を述べたるを以て委員會は全會一致を以て可決せりと述べ德川議長は右第一より第五に至る四案を一括して議題に供し二三讀會を經て原案を可決し次に戰時利得税法案の議事に入り武井守正男は戰時利得税の課税は政府の言明に依れば國防充實の爲めなりと言へるに對し此際何人か之に異存を挾む者あらん唯課税の法頗る不公平なれば反對せざるを得ずと反對意見を述べたるも中川男の動議にて二三讀會を經て原案を可決し

●臨時國庫證券法中改正法律案
委員長松平賴壽伯委員會の經過並に結果を報告し可決確定

●遠洋漁業奬勵法中改正法律案
委員長松浦厚伯委員會の經過並に結果を報告し可決確定

●軍用自動車補助法案
副委員長樋口誠康子(川村委員長に代り)委員會の經過を報告し衆議院の修正通り可決確定

●大正五年法律第四號中改正法律案
委員長松平賴壽伯委員會の經過を報告し二三讀會を經て可決確定

●朝鮮人官吏の恩給退隱料及び遺族扶助料等に關する法律案
委員長淸閑寺經房伯委員會の經過を報告し二三讀會を經て可決確定正午散會せり

衆議院 (四日)

▲決算委員會

決算總會は四日午前十時四十分開會、柏原文太郎氏(國民)より決算報告面に表はれたる事實に依れば富豪階級にて脱税し居る者少からず政府の所見如何と質し、市來大藏次官より調査中なる旨を答へ、古谷久綱氏(政友)より御大典に際し皇室よりの御下賜金の處分につき質問し市來次官は關係者六百六十餘名に對し最高四千五百圓最低二十圓の割合にて賞與又は手當金にして給與せりと答へ、澤來太郎氏(政友)より大正三四年度の各府縣滯納税分の狀況を明瞭に示されたしと希望し、三土忠造氏(政友)より帝國製菓會社の顛末に就き詳細說明を求め上山農商務次官之れに答へ正午休會

午後一時三十分引續き開會、兵器賣却問題に就き柏原文太郎氏より質問あり隈經理局長答辯し猶澤來太郎氏一宮房次郎氏(政友)等より質問希望あり同四時散會せり

◎日本出兵提議

▽米國及び其他聯合國に

日本は西伯利亞鐵道沿線及び浦鹽に於ける莫大なる軍需品の安全を期する爲め西伯利亞に聯合軍出行動を開始す可き事を米國及び其他の聯合國に提議せり右の交渉は日本が單獨行動を執るか或は聯合行動を執るかに就き進捗しつゝあり(合同通信電報)

▲米國の態度如何

浦鹽及び西伯利亞鐵道沿線に於ける軍需品保護の爲め西伯利亞に共同軍事行動を取らんとする提案に就き日本は聯合國の意嚮を質す可く米國及其他の聯合國へ照會書を發せり米國官憲は此事に就き語るを拒めるが米國の態度のみに就て吾人(聯合通信)の諒解する處に依ば此提議は餘り歡迎されざりしが如きも意見の交換は其後も行はれ居り其結果は今後米國政府の態度に變化を見るやも知れず(華盛頓電報)

▲米國結局贊成乎

日本が西伯利亞出兵に關し此交渉は極めて圓滿に進行しつゝあるもの如く英佛兩國政府が日本の活動に對し贊成なるは兩國新聞が悉く熱心に日本の奮起を希望し居るを見ても明かなり唯だ米國に至ては未だ其態度を明かにせざるも米國は露國の過激派が獨逸に降服せざる迄は米國大統領も露國の民主的運動に對し同情を表したる歷史あり、併し今日の如き形勢となり獨逸の勢力が太平洋に出づる時は米國自身も危險を感ずるを以て形勢の判明するに隨ひ米國も亦日本の活動を喜ぶに至る可しと期待されあり(東京特電)

▲殘るは只手段のみ

聯合國使臣の露都を引揚げたるは獨軍進擊の爲めに非ず日本が西伯利亞に於て新たに活動す可しと期待さるゝが故なり尙聯合國は日本の實戰參加に對しては主義に於て既に是認し今後に解決を要するは是れが實行の詳細手段のみなりと(巴里電報)

▲佛將軍の出兵觀

フオルク將軍は語りて曰く『日本にして西伯利亞横斷鐵道保護の任に當らば五十萬の精鋭を出す事となる可く滿洲鐵道は日本軍をして日に廿五哩前進せしむ可し』と(巴里電報)

◎馮總統辭意を漏す

馮總統は一日側近者に對し [illegible]

◎新嘉坡と邦人

大阪商船は南洋南米航路を開き山下汽船も又た南洋に飛躍する由に [illegible] 案は日本人は勿論英人自身にても不利を來すより各國人商業會議所に於ける日本人經營の [illegible] する事も出來ざるべし而して同洲 [illegible] 千四五百萬圓の貿易額を占むる邦人が此れを以て同地方の發展の頂上に達せりと思惟するは [illegible] 外國人の取締の如きは印度人及び蘭人に對して嚴重なるが日本人に [illegible]

◎北京政界形勢不穩

段派の陰謀=馮總統壓迫

馮總統が辭意を洩せりとの事は其筋に未だ入電なきも北京政界に不穩の形勢有るは事實なり段祺瑞氏一派は早くより徐世昌氏を大總統とし段祺瑞氏を總理とする目的を以て奉天督軍張作霖氏の兵を北京に招き一大クーデターを行はんとする陰謀を有したり張作霖氏は二月十二日日本よりの武器を受取ると稱して張旅長、楊參謀に第二十七師の歩兵二營を秦皇島に出し日本よりの武器の大部分を横領せり然るに彼れは續々後繼部隊を派遣するのみならず二月二十五日には約一旅の兵を秦皇島と天津の中間なる灤州に進め尙續いて天津に向つて前進せしめんとす彼れが密偵は北京內外を徘徊しつゝあり馮總統は張作霖氏に灤州出兵の理由を詰問せるも張氏は更に之れに答へず西伯利亞出兵を命せられながら其兵は北方に向はずして却て西方に向ひ居れり灤州は北京を距る百二十五里に過ぎず北京にては總理王士珍氏の請暇以來國務院には馮派の代表者無く馮總統は漸く段派の壓迫を感じつゝあり今後の政局測るべからず(北京特電)

◎鮮米の眞價と格附(四)

▲政府當局も誤解 昨秋新穀建格附改正に際し、朝鮮米改良の觀念を認め、從來三圓五十錢格下の規定なりしを二圓格下まで之れを引上げ可く農商務省に申請する處ありしが、農商務省にては、遂ひに之れを許可せず、從前通り今尙三圓五十錢格下の格附規定にて取引的物に供さしむるは、粗惡米を受渡の目的物と爲し居れり、一面に於いて其の供給の數量を增加せしむる上に、有効なり、下米もあり、而かも其の下米と上米との優劣の範圍擴大なるものは、可成的格附範圍を擴張し置かざれば、物資移動の目的を達せしむる上に於いて不便多しとの見解の下に出でたる政府の方針に基く者ならんも、斯くては鮮米に對して強ひて改良向上を叫ばざるも內地產米に比し三圓內外の格落ちに相當する者までは移出し得べく、內地の定期取引渡米としても採用さるべしとの觀念を起さしめ、產米改良の上には至甚、至大の惡影響あるものといはざる可からず、投機取引の如き競爭取引に對する取引の目的物に可成的惡米を以てせんとするが如きは一見其の取引に對する物資供給の道を啓くが如く見ゆるも之れが爲めに產業の基礎は破壞せられざるを得ず、僅々商の知れたる一か二年の不良米を救助せんが爲に不必要なる格下を強要せしめんとするは俗にいふ最負の引倒しともいふ可く本末を誤れるの甚だしき者也。

▲東京市場の辯疏 東京市場に於いて之れを三圓格下と爲したるに就いては、同業者間にも種々の非難あり、實際其の衝に當りたる格附調査委員の辯明する所によれば、朝鮮米は兩三年來改良の實績見る可きものありしは一般の承認する處たるも、昨今內地へ移入し來たるもの如き良質品の續出し來たらんとは想像だに及ばざる處也。曾て總督府に於いて制定したる新檢査法が全道に亘つて大正六年十月より實施せられたることも知らざりしには非らざりしが、斯くまで改良の實績を得べしとは意想外のことに屬し、格附制定當時、鮮米格附引上の議もありしが、實際其の品質を確めたる上に非らざれば、危險なりとの說も出で、其の儘据置くこととなりたる者なれば、今後若し現在の如き優良なる米穀の續々として移出され、檢査にも不同無き以上は、敢へて外界の請求を受くるまでもなく純內地產米として之れを取扱はざるまでも內地產米同等の格に迄き格まで之れを進めざる可からず、斯くいふは、自身一人のみならず、多數同業者も我等と同一の觀察を有する也と某格附調査委員は語れり(東京支局にて〇×生)

◎日本を信頼せよ

デーリーメール紙の所論

駐英日本大使珍田子爵は二日英國外相バルフォア氏と會見せり、デーリー、メールは左の如き記事を掲げ之れを以て日本の眞意を表示せるものと諒解すと言へり、日本は極東に對する獨逸の侵略を阻止す可く適當にして且つ最も斷乎たる行動に出づる準備あり佛國の輿論は日本が逕般の行動に出ん事を委囑すべしと云ふ意見に殆んど一致せるが如し

▽日本有識者全部の意見 は聯合國が日本に對して右の委囑を爲す場合は全然日本を信賴する趣旨の上に於てならざる可らずと謂ふに在り即ち換言すれば日本は他の聯合國より事前に何等の拘束的條件を附せられざらんこと欲するなり獨逸の西伯利亞に對する野望を屏息するに當つて日本と他の聯合國(一國又は數箇國)との協力必要なりと提言せらる然れ共日本の諸聯合國は今回の行動に

▽協力するの不可能なる を知悉し居れり米國が經驗しつゝある船腹難を詰れば足れり其外に右の不可能なるを說明するには、現に歐洲戰場關係の場合に於て尙食料問題なる難問題あり他の問題を措きて單に船腹問題と食料問題とのみに就て云ふも日本は日本人を除きて露國關係の場合充分の可能性を以て事を爲し得る聯合國ありとは考へざる可し日本を信賴せよ聯合國が執拗に主張する所に隨つて日本が時局に全力を注ぐ場合に當つて日本の行動を妨ぐるが如きことありては

▽所謂取極を強ふる勿れ 日本が何事をか爲さんとせば先づ爲すに先だつて日本輿論の熱心なる一致的後援を有せざる可らず斯の如き擧國一致的感情は日本の當政者、其國民に依つて聯合國は日本が人命財產を拋ちて多大の犧牲を拂ふに不足なき大使命を果さしめ聯合諸國より無異議にして且申分なき委囑を受けたりとの事實を明示するに非ずんば喚起するを得ず(倫敦電報)

◎朝鮮郵貯現況

三月初めに於ける朝鮮郵便貯金の狀況は預入者百廿三萬人金額一千百五十萬圓にして之を前月に比せば殆んど增減なし尙ほ二月中には納税預金の引出し多き筈なりしも現計減せざる所より見れば預入も相當額に上りたるならん

◎秋山長官消息

上京中なりし青島民政長官秋山雅之介氏は四日午前關釜連絡船にて朝鮮經由歸任の途に就けり(門司特電)

◎古海總長招宴

古海警務總長は五日午後七時朝鮮ホテルに晚餐會を開き總督府各部長官都督李王職長官次官軍司令部師團司令部檢事長及び目下會同中の各司法官京城覆審地方覆審各法院長同等官京城高級職員全道各警務部長司令部及び京龍在勤憲警官署高等官約百餘名を招待す可し

人事消息

▲島田平壤覆審法院長 三日夜入京巴城館へ

▲松寺平壤覆審法院檢事長 同上天眞樓へ

▲森岡太郎氏(平壤土木出張所長) 四日着

▲野口幸一氏(元山土木出張所長) 同上

百臘百種

老來の板垣伯は耳が遠いとあつて小此木國手の診察を受けた▲處が國手は默診の末『何うも惡いやうには思へぬが伯も老齡の域に達せられたのでせう』と無遠慮に言ひ放つた▲すると伯も負けては居らず『デモ此間赤ン坊を一人生した位だまだ〳〵壯んな筈ぢやが』▲國手は之を聞いて『老齡は上の方から段々〳〵始まるもんですよ』▲隈樣になつた相な▲帝大教授の加藤正治博士は犀水と號して俳句をやる▲夫人は夫人で玉瑛と號して玉堂門下の一異彩だ▲博士は句を乞はれると先づ一句サラ〳〵と認めて置いて『家內も繪を描きますから』と御披露に及び▲早速夫人に一筆揮はせると云ふ睦まじさである▲先日も御夫婦連れで龜井戶邊に散歩し拐て一句に曰く『鶯や野川の岸の春の枝』之こそ眞に天下泰平▲寺崎廣業畫伯は之迄は飲むと茶屋でも何處でも健筆を揮つたものだ▲茶屋では藝妓にふくめて懇んに描いたものだが近來は假にさう云ふ處で筆は執らぬ▲其理由は『帝室技藝員でもあるし醉つた上で惡筆を揮つて名譽を傷けてはならぬからだ』と▲大に悟つたものだと見られる

京城府告示第二號

大正六年度京城府歲入歲出追加並更正豫算左ノ如シ

大正七年三月五日 京城府尹 金谷充

大正六年度京城府歲入臨時部追加豫算

歲入臨時部
第一款 繰越金 金參千參百七拾六圓
歲入合計 金參千參百七拾六圓

歲出經常部
第五款 汚物掃除費 金參千參百七拾六圓
第二項 傭人料 金千六百四拾八圓
第三項 馬匹費 金千六百八圓
第四項 需用費 金百貳拾圓
經常部計 金參千參百七拾六圓
歲出合計 金參千參百七拾六圓

大正六年度京城府歲出經常部更正豫算
第三款 傳染病豫防費 金參千貳百參拾參圓
第三項 種痘費 金六百四圓
第四款 傳染病院費 金萬五千九百七十九圓
第二項 雜給 金參千貳百九拾圓
第三項 需用費 金九千九百七拾七圓
第五款 汚物掃除費 金拾四萬參千五百七圓
第四項 需用費 金壹萬七千八百五拾壹圓
經常部計 金參拾萬七千七百七拾四圓
臨時部
第四款 汚物掃除費 金四百六拾四圓
臨時部計 金九萬四千五百六拾貳圓
歲出合計 金四拾萬四千七百參拾六圓

林野拂下公告

一、京畿道抱川郡永中面錦珠山
一、面積、百五十二町六反二畝歩
一、此ノ生立木、針葉樹薪材一千十八尺締 濶葉樹薪材二十二尺締
一、入札保證金ハ各自見積金高ノ百分ノ五以上

右買受希望ノ者ハ京畿道第一部勸業係ニ就キ契約事項、入札人心得書、圖面及實地熟覽ノ上來三月十五日午前十一時抱川郡廳ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督擔任ス

大正七年二月廿七日 朝鮮總督府

最新刊

書名	著者	定價
日本國體と日蓮主義	佐藤鐵太郎	一、二〇
翁處世百話	淸澤滿之遺訓	九五
敎へ草	二輪田眞佐子	一、二〇
公民教育資料	東京市版	一、二〇
勞働經濟講話	[illegible]	一、八〇
亞米利加合衆國	坂本健一	四五
最新製圖法自作	[illegible]	六五
哲學より政治へ	[illegible]	一、三〇
英語の學び方	神田乃武外十五大家述	九五
源平物語	大町桂月	九〇
珍らし自然界の現象	[illegible]	一、〇五
小說の作り方	[illegible]	五五
初等作詩法 律詩	森川竹磎	一、一〇
良寛和尚詩歌集	相馬御風	一、五〇
三叉文鈔	竹越與三郎	一、五〇
能と謠の講話	[illegible]	一、二〇
婦人の爲に	高島米峰	一、三〇
國民道德と日蓮主義	本多日生	九五

京城本町 電六八四・二〇八六・振京城二五七三 大阪屋號

李王職御用 模範 牛乳 ニウソ 石鹸洗粉
太正 肥塚
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五

大町桂月先生監輯 修養日訓 六版
四六版三百八十餘頁 總布製箱入美本 定價壹圓貳拾錢 送料拾貳錢

桂月先生の序に曰く(前略)謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ、一時に修養上の知識を貪らむとする勿れ、日々少しづつ自得して實行せよ更に他書を繙く人々に告ぐ、日々其日の條のみを讀め而も、熟讀せよ解らぬなら解る迄熟考せよ昨日以前讀み終りたる所を回顧するも好し、決して翌日以後の條を見るべからず、如何に多忙なりとも其日の條を讀まざるべからず、かくて一日又一日、一月又一月一年の後に至りて一年前と比較して見よ必ずや一階君は呉下の舊阿蒙にあらざらむ

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

弊社は約三十年間廣告代理業を以て唯一の業務とし左記の部門に內外樞要の地に諸種の廣告機關を有せり御一報次第廣告案內送呈す切に御利用を乞ふ
部門 意匠、文案、顧問
直接取引新聞 內地臺灣朝鮮滿州三百三十餘 英米支那印度南洋百五十餘
全上雜誌 內外各地百四十餘
屋外廣告 大阪市內揭示場數箇所
代理店 倫敦、紐育、市俄古
廣告代理業 大阪高麗橋四丁目 萬年社
電話長東〇九六〇一・一九六〇一・九六二一 支店 東京・京都

近來諸原料暴騰の爲め不得已從來の價格より三割方値上げ實行仕候條此段謹告候也
大正七年三月
京城印刻業組合

弊商會今般開城高麗蔘業社製品の一手販賣特約を締結致し人蔘の製品は卸小賣共精々廉價を以て販賣可仕候間多少に不拘御用命の程奉希願候
開城高麗蔘業社一手販賣元
京城府南大門通一丁目卅一番地
貿易商 三山商會

日本研學協會編纂 中學校女學校校長推獎
最新刊 中學校入學準備者のため 第一卷の方
定價金二十錢 送料金四錢
本書は現に帝都に於て中等教育に從事せらるゝ專門の諸先生が年の經驗により完全に受驗準備を爲し得るやう執筆せられたる理想的の著書にして、第一編は內地及び朝鮮に於ける入學試驗問題を集め之に模範的答案を附し且父兄親切なる注意を各問題に加へたり、第二編は讀本中より練習題を選び之に解答を與へ實力を養ふに資したり、從つて從來坊間に行はるゝ同種の準備書の比に非ず、敢て一本を受驗準備者諸君の座右に薦む。
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

[illegible]に通電し辭職の意志を表示するの外なからんとの意を洩せり（北京特電）

[illegible]通じ居たるものが最近に至り[illegible]三菱久原鈴木正金鮮銀の各大商店[illegible]偕比して活潑なる營業を試み近く[illegible]

軍事教育を充分に
＝徴兵令はどう改まるか＝
◇一年志願兵の資格局限◇

政府が今期議會に提出した徴兵令中改正法律案といふのは兵役義務の均等を圖るのと六週間現役兵制度の本旨に鑑みて之を一箇年現役に延長するのが主要目的で既に貴族院を通過して衆議院では委員會を開いてゐる徴兵令改正案は第一に從來の

◆一年志願兵（即ち陸軍豫後備役將校同相當官たる希望を有するもの）出願資格は年齢滿廿一歳から二十八歳までのを滿十七歳から二十一歳までとし且つ師範學校中學校並に勅令の定むる所により中學校の學科程度と同等以上と認めらるゝ學校を卒業した者に限られるから中等學校を卒業しない者が陸軍試驗委員の試驗を受けて一年志願兵と成る便利が撤廢せられる次に滿十七歳以上二十八歳以下にして師範學校を卒業し小學校の教職にある者は從來は

◆六週間の現役兵として徴集され二十八歳までに教職を離めると改めて二箇年の現役に服して後定例の豫後備役に入れられたが今度は六週間を一箇年の現役に改め二十歳未滿に師範學校を卒業した者と滿二十歳乃至二十三歳までに卒業すべき者と限定する、そして二十三歳を過ぎても卒業しない者、現役を終つて六箇月を過ぎるも教職に就かない者、小學校の教職に就く資格を失つた者とは

◆現役に徴集 される事となる、之について陸軍大臣は國民教育に當る教員に對して六週間の現役では軍事教育を十分に施す事が出來ないから一箇年に延長したいと衆議院委員會の質問に答辯した、更に修業年限三箇年以上の專門學校在學生に對する徴兵猶豫二十八歳までを一年縮めて二十七歳までとし露領沿海州、同薩哈連、支那、香港及び澳門以外の外國在留者は從來徴集猶豫を三十二歳までに限つたが今度は

◆三十七歳迄 に延長しやうといふ、最後に徴兵令罰則に正當の事由なくして身體の檢査を受けざる者は三圓以上三十圓以下の罰金に處すとあつたのを一足飛びに『百圓以下の罰金』と相場を上げ又兵役を免れるために逃げ隱れ或は身體を毀傷したりすると三年以下の

◆徴役を食ふ 舊則では一箇月以上一年以下の重禁錮に三圓以上三十圓以下の罰金を追加されることになつてゐた、此改正案が本會議に出るまでに委員會でどんな訂正が出るかは判らぬが陸軍側では熱心に案の通過に努めてゐるから之が下院をも無事に通過したら愈々大正八年十二月一日から改正徴兵令が施行されるのである（東京）

◎全鮮武術大會
▽總督も臨場

慶報の全道憲兵警察官武術大會は愈々五日午前九時より憲兵隊司令部道場に於て開催す可く當日長谷川總督古海總長其他の臨場ある筈

◎浦鹽から 鮮人送還
▽露國の御用船で二百餘名 清津と城津に上陸

露國御用船ヤック號（八百噸）は困窮鮮人送還の爲め四日朝浦鹽より清津に入港し鮮人九十二名を上陸せしめ直に城津に向ひ同地にても百二十名を上陸せしめたるが五日清津に引返し浦鹽に歸航の筈

▼一萬の鮮人が 食ふに困る
今後も續々歸鮮する

逆還されたる鮮人一行中の代表者は語る 浦鹽には在來鮮人六千名の外に戰地より歸還せし者亦四千名あり是等鮮人は近來勞働口なく露國人の虐待甚しく若し此先浦鹽に在留せば所持金無くなり益々困窮するのみなれば一日も早く歸鮮せん事を欲し在留鮮人一同協議の上露國官憲に請願せる結果露國官憲に於て御用船を廻航する事となり茲に歸鮮せる者なるが今後も便船あらば歸鮮者多からん

▲武裝した御用船 尚ほ前記御用船は武裝者居れるより地方官憲の注目する處となり同乘組船員の上陸を許さず（清津特電）

◇人の波、人の山　本紙讀者慰安會の盛況（上）木戸口の雜沓（下）立錐の餘地なき場内

◎永川の猛火
東拓移民宅發火 燒死一重傷三

慶北永川郡永川面早橋洞居住東拓移民柳瀬熊太郎方より二月二十六日午前一時頃發火し居宅を初め厩舍物置等合計三棟を全燒し同三時頃鎭火せり損害は約六百圓なるが主人熊太郎が

▲出火を發見 したる際は室内は既に一面の猛火に包まれ居り熟睡中の家族等を呼び起し救護避難せしめしも折柄の烈風に火は忽ち住宅より納屋に延及びて黒煙に捲かれ是れが爲四男悦（六つ）は逃げ口を失うて無殘なる燒死をなすに至り妻きわ（四五）二女あつみ（四つ）の兩名は

▲全身に大火傷 を負ひて頗る重態に陷り應急手當を加へしも兩名共生命覺束なかるべく長女せい（一三）三男千年（一つ）の兩名も輕傷を負ひ飼養中なる五才の牡牛一頭も遂に燒死せり發火の急報に接し里民數十名出動して消防に努めしが同里は

▲移民内地人 五戸朝鮮人六十戸の部落にして熊太郎方は村外れの獨立家屋なりし爲め幸にも他に延燒せず鎭火せしが家族に死傷者多數を出したる程のことゝて家財は一物だに

▲搬出する遑 なく悉く烏有に歸したり急報に依り所轄警察署よりは同家に公醫を特派して負傷者に應急手當を加へしめ一般里民も大いに同情して同家救濟の途を講じつゝありと而し同人は約二千圓許の財産を所有し居るより家屋等は自ら再築するを得べしと

▲發火の原因 は同夜深更迄焚きたる温突の殘火の始末が充分ならざりし爲めなるべし

◎人を殺して一萬元
貰つた支那密偵

支那人徳養源及び王揖伍の二名は本年一月頃長春に於て或る重大なる畫策をなし邦人某商行より銃器を買入れ將に事を擧げんとせし刹那姦を晦ましたるものにて爾來長春支那官憲に於ては一萬元を懸賞し其行方捜索中のところ長春鎭守使の密偵趙舜和は種々苦心の末王等が上海の外國租界に潜伏せる事を突止めたりされど王等が租界より一歩も外出せざる爲め逮捕する能はず空しく焦慮する中王等が風を食つて逃走せんとする形跡あるより趙密偵は途に同租界内に於て王揖伍を銃殺したり之が爲め趙は同地官憲に逮捕せられたるが取調の結果は右の顛末悉く判明し直に釋放されたるのみか其歸長と同時にマンマと賞金一萬元の交附を受けたりと（長春）

日本で出來る藥
外國品に劣らぬ立派なもの
總督府醫院藥劑官 吉木彌三氏談

戰爭のお蔭で外國からの藥品の供給がピタリと止つて了つた、乃で一は藥と云ふ藥が大抵知らずの相場を現出し所謂藥成金も隨分出來たが、今では日本でドンな藥でも出來る、其結果今でも和藥はさう下らない、[illegible]には高いが何しろ政府で補助獎勵へて努力した甲斐で立派な藥がいくらでも出來る様になつたが、其内の藥など少し多過ぎて困つて居る位、これは設備も多く掛らなければ工費も掛らないと云ふので、くつくと云ふので[illegible]もと製造を始めた結果所謂生産過剩を來したものである

世間には日本製の藥品は外國製のそれに比して品質が著しく劣つて居ると言ふ者もあるが、之は因はれたる謬見で昔はいざ知らず[illegible]る程中には粗製濫造のものもあるが概して輸入品に劣らぬ程立派なものである、從來日本では出來ないものと殆んど絶望的の眼を以つて見られて居た品が出來て居たけれど、作て拵らへて見ればコンナ立派なものがいくらでも出來る

◇それに何故戰前は藥業が振はなかつたと云ふ話があるが、[illegible]の一點に歸着する、[illegible]向の上からしても外國から輸入した方が廉くついたからである

◇さて藥と云へば昨今は人參萬能と云ふ有様だが、果して其る效果があるかないかは目下研究中で[illegible]る程の効果があるかないかは[illegible]ある、一般西洋醫學の方ではなに利き目があると云つた風に、分拆と効能とがキチンと定つて居るが人參は此迄が正確でない

◇で藥學上からは今何んとも申上げる事は出來ないが多年の經驗に徴して多少の効果はあると思ふ

◎數千の觀覽者
潮の如く殺到す
木戸口は修羅場のやうな混雜
◎大成功の本紙讀者慰安會
◇◇◇『大正の孝女』の主人公に同情して寄贈金が彼方からも此方からも◇◇◇

本社は四日午後六時半より黄金館に於て本紙愛讀者慰安會を催したるが寫眞は目下同館に上場中の特別大寫眞大正の孝女を始めとして齋劇河合又五郎、大金鑛、滑稽虎のミニー、スロットルの少年、門番ジミー等何れも

◇選抜きの 好寫眞にして宛かも當日は四温日和の好晴なりし事とて入場者は開會一時半前の五時前後より潮の如くに殺到し六時半愈々映寫を始める頃には階上階下共に殆んど立錐の餘地なきばかり入場者は

◇無慮三千 と註せられたり然して木戸口は犇めき合へる群衆にて一大修羅場を現出し凄きばかりなりき中には無料入場心苦しとて入場料代りとして幾何の金員を呼物の寫眞大正の孝女の主人公なる薄倖の少女

◇松村文子 に同情金さして贈與方を申出でらるゝ向き百名近くに達し本社員は一々その金額と芳名を錄しその筋の手を經てこれが送達を圖る事となせり然して映出の寫眞は各辯士得意の説明にいづれも大喝采を博し就中大正の孝女にては觀客の多くは

◇袖を絞る を見たり本社の讀者慰安會はかくして大成功を以て終りを告たるは本社の最も滿足とするところなりしも茲に遺憾に堪へざりしは遲れて來場せられたる方に對し滿員のため

◇入場謝絶 の已むなきにいたりし一事にしてコハ諸賢の寛恕を希ふの外なし、然してよく終りに多數の觀客を整理して說明を爲せる辯員辯士諸君にも此の機に於て感謝する次第なり

◎慶南密陽大火
廿一戸を燒く

慶南密陽郡下南面禮里農金昌範方に積みありし大豆殻より二月二十日午後四時十分頃發火して大事に及び折柄の烈風に火は忽ち他部落に延燒し遂に十五戸二十一棟を全燒して同日午後七時二十分頃鎭火せり損害意外に多き見込にて目下後始末に困難し居れりと

◎京城中學校
入學試驗問題

日本歷史科

一　徳川吉宗の事蹟を述べよ

二　左のものにつきて知れることを記せ
（イ）中江藤樹　（ロ）[illegible]

地理科

（一）朝鮮に於ける鐵道の幹線、支線を圖にて示し、其の終始驛名を記入せよ

（二）我が國の輸出品、輸入品の主なるものを五つづゝ擧げよ

國語科　解釋

（一）左の文を解釋せよ
（イ）遠きを慮り苦を忍びて老後の幸福を願ふべし
（ロ）社會の規律公德を重んじ大國民たるの品格を備へざるべからず
（ハ）討つべきは今なりと心を取直せども如何でか討たるべき
（ニ）せめて此の所存を上聞に達せばやとて行在所の御庭にしのび入る

（三）左のことばを解釋せよ
（イ）しらべ高く歌へ　（ロ）川止
（ハ）いきの手水　（ニ）衍
（ト）市井の感化　（ヘ）萬機の政
（ホ）好々　（チ）公吏
（リ）春禄　（ヌ）取引先

國語科　讀方

左の漢字に讀方をつけよ
（イ）値段　（ロ）招待　（ハ）立退
（ニ）殿早　（ホ）名残　（ヘ）往來
（ト）嗜好　（チ）所行　（リ）開拓
（ヌ）福原　（ル）茶る　（ヲ）嫌なり
（ワ）党に訴ふ　（カ）廣あり　（ヨ）骨髓

◎海賊逮捕
船頭を海に投げ込んだ

二月十五日全北扶安郡沖にて忠南舒川郡の米穀商崔某の米船を襲ひ船頭二名の手足を縛し海に投げ込み米百八十五叺を強奪せし海賊三名は全羅南道の法聖浦に入り込み米を賣る所を靈光署にて探知し三月三日逮捕す犯人一切自白す（光州特電）

◎清川江解氷

平安南北兩道界を貫流し居れる清川江は二月二十六日降雨ありし以來漸次解氷し始め安州邑北方の老莊里の渡船は二十七日より開始せり

◎邏齋會茶話會 宮地龍世派の元老三田村英氏の歸ろ京城臨時宮にては六日午後正六時より下山町なる同氏別宅に於て[illegible]大會を催ふし祭祀[illegible]七時半頃の乖離にて會員及び來賓の茶話及び十餘番の餘興もある筈にて同好者に對し夫々案内する由

◎妙心寺攝心 妙心寺三日攝心は五日より九日まで午後六時半より行はるゝ筈にて求道佛法に志あるものゝ來會を歡迎する由

◎又復白米値上
二十七錢となる

天井知らずの鮮米は値上りの勢を見つゝ有る白米は又復五厘値上げの廿七錢となつた原因は時局の成行が妙に險惡として來たため朝鮮人側に思惑的買占めが流行るとか流行らぬとか又寶物滿の影響だとか言ひ傳へられて居るがハテ甚な雲行ちあわい

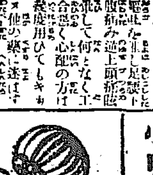
◎鴨綠江岸馬賊

最近憲兵隊司令部に到著せる情報に依りて鴨綠江岸に於ける馬賊の出沒狀況の大要を記せば二月五日午前一時頃各自銃器彈藥を携帶せる馬賊十二名鴨綠江岸より約三里の奥地臨江縣七道溝北崗城に現はれ同地移住鮮人包仲逵方を襲ひ家人を縛し銃を擬し脅迫して現金六十餘圓を強奪の上逃走せり同地方は未だ曾て馬賊の出沒なかりしに今回の被害あり附近人民は恐怖し居れり更に又二月九日午前三時頃同じく各自銃器其他の兇器を携帶せる馬賊五名は咸鏡南道上水里對岸より約二里半の地點なる長白縣藥水洞支那人蘇長盛方に闖入して家人を縛し上げたる上現金二百餘圓を強奪逃走せり

謹告

四日夜黄金館に於て開催せし本社主催讀者優待活動寫眞會は萬事不行屆勝ちなりしにも拘らず豫期以上の成功を以つて無事終了仕り候段本社の滿足之に過ぎたるものゝ無御座候唯收容人員に制限あり遲刻の諸君に對して入場謝絶の已むなきに至りし一事は返す〳〵も遺憾に不堪候へ共全く右の如き事情につき不惡御寛恕被成下度右御詫旁謹告仕候也

京城日報社



のん病七日藥
痳除 慢性痳病・急性痳病・膀胱加答兒・尿道狹窄・女子淋病 痳病はいやでも治る奇藥也 七日分服用せよ 東京神田今川小路一の六 大阪南區堺筋八幡筋北入 山口藥院

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一回分に付錢增し
▲申込成中途廢止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に壹割引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
◉藥劑師備入 希望者は履歷書携帶來談あれ 京城明治町二丁目 高麗商會 459
◉牛乳配達人入用 蓬萊町四丁目 東亞牧場 456
◉子供貰ひ受たし血統正しき容貌美にして入籍無者 龍山緑町十番地 井手 460
◉助手藥局生看護婦入用 本人來談 仁川 松本病院 461

番外
◉代診生藥局生至急入用但し經驗ある者履歷書携帶本人來談されたし 仁川 佐藤病院 461
◉寫眞機中版川及鏡玉買入れたし 婦人技師及女兒習生至急採用 龍山停車場前 獨立軒寫眞館 455

外務員募集 二十五歲以上履歷書持參午前來談 明治町一丁目 東京國債 京城支部 457

移轉 今般擴張する爲め左記に移轉し從前日割の通り水土兩日研究會員を大募集す 京城南大門通一丁目 京城碁研究會 電一五八

高の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 出版五十錢 村上唯吉著 京城太平通 京城日報社代理部 振替三〇八番

優等清酒　[illegible]

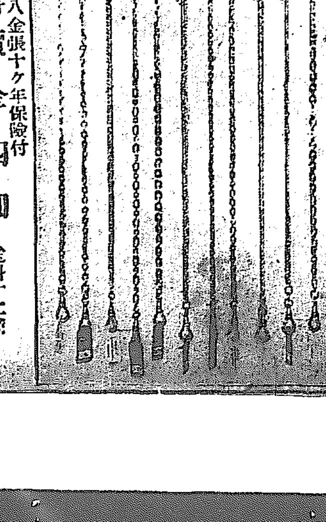
發賣元 福岡縣三井郡田川村 富安本店
發賣元 京城永樂町七丁目 富安京城支店 電話四四三 振替口座四三九番
特賣御斷り

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町（鍾路通り若草町新開路中程）電一五五六 新築落成◎入院隨意 毎日曜祭日午前中

大正七年春季號 園藝カタログ（無代進呈）
一切の花卉蔬菜の說明と培養法を記述し、代價を低廉にし寫眞版金屬版にて其の形容を彷彿たらしむ
▲郵送料二錢添へ御申越次第無代進呈仕候
東京京橋區日吉町 國民新聞社勸業部
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

内科 呼吸器病 胃腸病喘息
小兒科 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話二八〇番
山田病院 院主 山田萬作

内外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目（壽館前）電話二一六番
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
院長 正六位勳四等醫學士 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彦
高井醫院


アメリカ製十八金張十ケ年保險付
壹本特價金四圓 送料十二錢
京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱中候
京城府南大門通四丁目五番地
株式會社 漢城銀行
頭取 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 張弘植
電話 二六四番 三三九番 振替京城一八二六番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕

肺ペストと注意(二)

「ペスト菌」の壽命

本菌の抵抗力を知得するは防疫處置施行上必要なるを以て二三の要件を左に列記す

一、「ペスト」菌は最下等の生物たるを以て随つて一定の發育要約を必要とす、即ち本菌の繁殖に最も必要なるは空氣及び水分にして次は動物體の蛋白質なりとす、又發育に對する最好温度は攝氏二十五度より三十度なるも零度以下に於ても亦生活を持續する性あり。

二、「ペスト」菌は他の雜菌との共同生活には壽命長からず故に汚穢水には四日乃至七日間とす、排泄物膽汁中には二十日間喀痰中には十日間、糞便中には五日間、飲食物の生卵白、牛乳、果實、麵麭等に附著したる場合には一乃至二週間水中に於ては上水には五日より十六日間海水には六日間、土壤中には三箇月間、而して本病屍體を土中に埋沒したる場合には十七日乃至三十日間生存すと云ふ。

三、乾燥は細菌のみならずとも速に死滅す、布巾又は絹絲等に附著したる場合は攝氏三十度の氣温にて五乃至六日間、喀痰又は膽汁の布巾に附著したる場合は三乃至四週間生存す、然れども氣温昇騰するに從ひて死滅も亦速なり、而して飛揚塵芥中には生活菌附著することなし故に塵芥は危險比較的少なし。

日光、本菌は直射光線を受くれば速に死滅す但し毛布に附著したる場合は十八時間以上を要す

寒冷、に對しては本菌の抵抗力甚だ強く零下三十一度に於て五箇月間生存せし實例あり。

温熱、乾燥熱は攝氏百度にて二十分より一時間、百二十度にて十分間、濕潤熱に對しては死期更に速なるを以て蒸汽消毒は甚だ有力なりとす、即ち攝氏百度にて一分間、七十度にて十分間に確實に死滅す。

四、消毒藥 石炭酸は百倍液にて十分間、二十倍液にて一分間、膽汁又は喀痰中に在る場合は百倍液にて一時間を要す、又「リゾール」の百倍液は五分間、四十倍液にて一分間而して昇汞水は千倍液にて直に滅殺す、然れども膽汁は二分間を要す、石灰乳は糞便と同量に混ずるときは一時間、格魯兒石灰は百倍液にて膽汁は五分間を要す、酸類即ち硫酸及び鹽酸は二千倍液にて五分乃至十分間、一%フォルマリン液は三時間にて滅殺す。

凡そ消毒藥の効果は寒帶地方と熱帶地方とに因りて自ら差異あり換言すれば消毒藥液の温度昇騰するに從ひ効力増加す然るに「ペスト」菌は酷寒に堪ふるを以て若し消毒藥液結氷せんか効力著しく減少す故に居室消毒には室内を温めて氷結を防ぎ加熱消毒藥を用ふるを可とす。

傳染源及傳染系路

肺「ペスト」の傳染源は患者は勿論患者居室及び使用物件なりとす、殊に本病患者發生家屋は患者盛に有菌痰を喀出するを以て室内を汚染すること腺「ペスト」發生家屋の比に非ず、故に肺「ペスト」發生家屋を特に「ペスト」家屋と名稱し危險視せらるゝ所以なり。

本病の傳染系路として直接及び介達の二樣あり即ち左の如し。

直接傳染 人―人

介達傳染 (イ)人―汚染物―人 (ロ)鼠―蚤―人

一、直接傳染 肺「ペスト」に於ては此の直接傳染即ち觸接傳染に因ること極めて多し若し健康者にして不用意に患者居室に入らんか患者は苦悶しつゝ咳嗽を頻發し盛んに含菌痰沫を飛散しつゝあるを以て誤て之れを吸入せば必ず感染を免れ得ざるなり故に本病は患者に觸接せざるも唯該居室に出入せしのみにて感染す。

今日の實驗に依れば患者の咳嗽により其の喀痰の飛散する距離は約一米突に達するを以て凡そは四尺以上離隔して對話するを呼吸器傳染病患者に接近するに必要とす故に「肺ペスト」豫防に從事する醫師並に其他職員等の服裝は此の直接傳染の危險を避くる目的を以て彼の特有なる豫防衣を著裝する所以なり

二、介達傳染 肺「ペスト」の傳染系路は腺「ペスト」の夫れと趣を異にし鼠族に關係なきを以て鼠に附著する蚤族にも關係薄し故に介達傳染として其主なるものは病菌の汚染物件即ち患者使用の衣服、寢具、布巾、喀痰、家具等なり、然れども患者に附著する人蚤、床蚤の如きは完く之を無視し得べきに非ざるなり。

備考 肺「ペスト」流行は大多數の場合直接傳染にして介達傳染としては鼠族に關係なきことは從來の實驗に徵して明らかなる事實なりと雖も鼠族は本病毒に最も感受し易き動物たるを以て流行の狀況によりては病毒の土地に固著殘留を防止するため驅鼠法を勵行するを要す。

豫防法及び防遏處置

「ペスト」病殊に肺「ペスト」は猛烈なる傳染病にして若し夫れ一度本病の侵襲を蒙らんか罹患者の不幸は勿論商工業の發達を害し貿易上の損害甚しく國家の損耗之より甚しきはなし故に「ペスト」病は一の國疫なりと稱す之れ實に至當の言と云ふべし、今日「ペスト」病の侵襲を蒙りたる地方の防疫費竝流行狀況を聽取するに土地の關係と流行狀況に依り多少の差異ありと雖も患者一名に付き平均一萬圓より五萬圓の多額に達せり若し之れに個人關係の損害並に貿易不振に依る損害を加算せんか其の損失實に莫大なるものありと云ふべし、是れ精勵努力以て本病の防遏手段を講ずる所以なり

一、個人的豫防法 本病を豫防せんには先づ第一に個人的注意を要す。

肺「ペスト」は何故に夏期に少なく冬期に流行するや此の理由は大略左の二者に在り

(一)冬期は空氣乾燥し且つ冷却するを以て外氣と室内温度とは著き差異あり爲に呼吸器を害すること大なり、之れ本病感染を容易ならしむる一理由なり故に若し呼吸器疾患に罹り咳嗽ある者の患者居室に入らんか咳嗽時の深呼吸に因つて病毒の吸入を容易ならしむべし、且つ冬期は寒氣持續するを以て各人一室内に群居すること多きを以て傳染機會を與ふること多し。

(二)「ペスト」菌は「コレラ」菌と正反對の性質を有し暖氣に抵抗力弱く寒氣に堪へ酷寒に遇ふも容易に死滅せず却つて生存期間を延長する性質を具備するを以て之れ亦冬期に好んで流行する一理由ならん。

以上の理由たるを以て冬期は呼吸器を害せざる樣注意を拂ひ必ず外出の際は呼吸保護器と稱する口蓋を施し外氣の冷却氣を調節し且つ塵埃吸入を防止する必要あり、且つ室内に於ては各人四尺以上を離れて談話の交換を行ひ咳嗽の際は決して人の正面に向ひて爲さゞる樣注意を拂ふにあり、本注意は啻に肺「ペスト」病のみならず凡ての呼吸器傳染病の豫防に對して有益なり。

二、患者早期發見方法 本病の防遏處置としての最大急務は患者の早期發見にあり患者を早期に發見せんか豫防法を完全に施行し得るのみならず經費少額にて足る随つて住民の損害も亦寡少なるを得べし故に本病侵襲危險地に於ては宜しく患者の早期發見に努力せざるべからず其の要項を擧ぐれば左の如し。

(一)交通關係 陸路及び海路出入者殊に有病地關係者に注意を拂ふを要す。

(二)住民職業 職業關係常に明かなれば有病地との關係を知るに最も便宜なり即患者診定上參考となるのみならず豫防處置を適當に實施し得べし。

(三)住民の疾病 住民の疾病殊に急性熱性病の患死者に注意し常に檢病的戶口調査を實行すれば患者の早期發見容易なり。

(四)疑似患者診定法 疑はしき急性熱性病患死者あれば必ず細菌檢査を行ふべし。

三、防疫準備 本病の來襲危險地に於ては豫め防疫處置の準備を要す。(警務總監部衞生課)

日報俳壇

多雜詠

灯に黄なる室葱の芽や鯨汁 蓋水

酒の色險に生きて鯨寂 同

人力車に膝暖き毛布かな 同

鵠の巣が照き月の冬木哉 同

腹白き鰯溢れ居る叺かな 同

適に懸る空の深さや冬の山 柿寳

冬の夜や物の千破も屋根の音 同

燒け跡に鐵の十壁や冬の月 同

對岸の火事を照る船の障子哉 同

炭燒の兒に降りかゝる落葉哉 同

月に白き筧の水や落葉風 遥天

落葉掃く尼僧に塔の旭哉 森象

町遠く灯點す丘の落葉哉 一樹

晩鐘に且つ散る庭の落葉哉 東溪

淋寂しき寺門の落葉哉 翠葉

□春燈吟 其の五 大正七、二、一六

東風

藪鴨や強東風に出て舟下る 田打夫

朝東風や河岸に戸開け聞屋哉 同

東風や谿積木解く居る男哉 春樹

道を塞ぐ瀧り時雨東風の宿 迦南

東風吹くや渡舟出て鵜の岩に 非城

東風人や今下し舟を忘れ歩む 橙黄子

鶯

鶯や藪に蔬れる雪一塊 水子

鶯に火桶灰深き一間かな 春樹

鶯に庭土日々に乾きけり 白風

鶯や谷の日浴びて家小さき 笛木

鶯や切れて久しき圓下駄 迦南

膝の龍に鶯鳴くや渡舟の中 俚人

孟宗林鶯飛んで日消へたり 橙黄子

新刊紹介 (到着順)

▲日本の佛教(境野黄洋著) 佛教はドウいふ風に研究したら好いか、佛教といふものは大體ドウ云ふ事を說いてあるのか、其の歷史から現在の狀況を知るにはドウすれば好いか、經典の内容は一體どんなものか乃至近頃やる研學さいふものはドンなものか杯といふ事を此の書に於て一切說明せるものなり(一圓東京小石川原町丙午出版社)

▲東條琴臺(西居要作著) 下田歌子女史の顯父故東條琴臺翁の事蹟を錄したる書なり、翁は隱れたる幕末の鴻儒にして高田十二萬石榊原侯に聘せられ官學者として重用せらる、事多年傍ら「伊豆七島圖考」を著はして幕府の忌諱に觸れ諸侯に預けられ七年に及びしも嘉永四年赦されて後も諸侯に獻策して盛んに勤王の大義を說き一面著述に日を送りて王政維新となり一旦仕官せしも後ち東京湯島天滿宮の祠官となり明治十一年に至り遂に失明して明治十一年八十四歲を以て長逝したる人なり翁は爲人剛毅にして勤王の志篤く且つ博學多識なりしを以て其著書多かりしも多くは湮滅して世に傳へられざるを遺憾とし特に此の編を公けに

讀者の領分

▲藤本伊三郎君足下 [illegible]に促す某國の宗祖否革命は斷念せられし、や南北多邪の折衝支那人を深山引連れて仁川上陸は方角違ひならずや或は昔の請負人に歸らるゝ意か嗚呼過ぎる茶菓地にての武者振り倘一見したしと希望する者あり(同志末孫)▲老兵卒君の說に贊成陸軍記念日の祝典に參列するのは軍人だから良いとしても天戰の戰況さへ知られ中少尉の參謀官の銃砲の持方さへ知られぬ連中や兵科各部も識別し得られない所謂知名紳士(?)を招待して參列せしめるのは眞に其の意を得ない國民兵役に在る者にして彈丸の下を潛りし者は勿論の豫備後備の軍人で一年でも二年でも軍隊生活をしたる者は將校下士兵卒の別なく招待し祝典に參列せしめると云ふことは軍人を遇するの道であらう戰爭の時だけ軍人は名譽だの軍人は國家の守護神だのと譽めて貰はなくてもよい平時に於て遇して貰ひたいイザ鎌倉の時には譽められなくとも行ふべきは行ふ(老武者生)▲日鑑流へ物申す京城に弓術倶樂部がないとは失禮千萬官吏側には倭城臺倶樂部、遞信、東拓、印刷局にある又民間には永樂町弓術道場、西大門倶樂部あり毎年大會は十回以上もある先日は老大家和知六合齋先生を招待したとかでなかく盛大なもの君も熱心家と見た早々何れかへ入會して大に奮鬪し給へ(弓狂)

京城本町 千代田號印鋪 電話八七番

新刊

▲新時代(三月號) 一讀は一喫毎に驚く事ありとせしものなりと聞く(八十錢東京神田表神保町二東京堂)

▲女の世界(三) 青柳有美氏の主宰せるものにして女も讀むべく男も讀むべく兎に角面白き記事多き婦人雜誌なり(二十三錢東京麴町有樂町一ノ四實業之世界社)

▲鮮滿之工業(三) 朝鮮滿洲に於ける工業界及び鑛業界の記事を網羅せる雜誌にして斯界の人の必讀を要すべきもの(二十五錢京城旭町一ノ一共社)

▲日本印刷界(一〇二) 模範的印刷雜誌にして斯業者の經針好師友なり(二十七錢大阪東區南本町二共社)

▲科學世界(一の七) 論說、理化、博物、生理衞生、醫藥、工業、鑛業、最新科學、實驗應答、簡易工業、藥報等諸欄何れも新知識の要求たる觀あり(二十五錢東京本郷湯島町四の八共社)

牛乳 御用 京城東四軒町 新鮮 衞生 滋養 岡野牧場 電話一〇六九番

◎獨逸宰相演說

二月廿五日獨逸宰相ヘルトリング伯の議會に於ける演說の[illegible]

少數者の會合をなすは却て誤解を[illegible]避け妥協に至るの捷徑なりと信ず[illegible]に自身義問題の如き或る國例へば白耳義政府が提議をなす處あらば[illegible]一般的平和が齎せらるゝ[illegible]に同意す尤も此種の原則は唯[illegible]に依り提議せられたるを以て之れを[illegible]せば各國を民衆しく承認すべき[illegible]

[illegible]割設の意圖の如きは協商國側に毫も之を認め得ざる處にして英國の戰爭目的の如き依然として帝國主義にして英國が民族自決權を唱ふ[illegible]

東方戰場に於ける我が軍事行動の如き豫期以上の成効を遂げたりと雖も之れとて我らウクライナ和約の效果を確保せむとを[illegible]

▽講和近々成立 帝國政府は廿四日ペトログラード政府が我[illegible]するにあるのみ

▲ボーランド問題[illegible]に就ては昨日ブカレストに開かれたる[illegible]右講和は我軍の成功を基礎とすべし然も他方又將來の友邦と和議をなすことを忘れざる可し

▲東方平和近し 東方戰場に於ける平和の時機近づき世界は[illegible]確定の[illegible]要求すべき事項の要[illegible]

下關期米

△四日後出(小雨高買進へ弱氣)

龍角散の偉効

(必ず服薬ねばならぬ容體の人)

◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人

◎ぜんそくにてゼイゼイいき切する人

◎せき頻に出で夜中オチオチ眠り兼る人

◎流行感冒より起るたんせきの人

◎肺病にて常に力なきせき出る人

◎たん臭氣を帶び時々血の交る人

◎百日ぜき又はしかぜきの小兒

◎音聲のかれ又た咽喉のいたむ人

その他常に音聲を使ふ人服用あれば咽喉を常にし聲の掠れを補ふこと奇妙、且つ香味爽かにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人又は小兒のたんせきにも適します

定價 二十日分十錢 一週分三十錢 一ケ月分壹圓 四日半二十錢 二週分五十錢 (郵送料二錢)

取次全國各藥店にあり本舖へ御注文の節は郵券代用御差支無之候

本舖 藥劑師 藤井得三郎 東京市神田區鍛冶町 電話神田二〇七八 振替東京九一

たんせきぜんそくの苦しみを夢の樣に治す

たんせきぜんそくの流行季節になると、一寸の油斷から病勢を重らせ、遂に氣管支炎、肺炎、肋膜炎となつて一生不治の病に泣く人が多うございます。

たんせきだけは油斷大敵!

譬へ自分ではそれほど感じないでも、直ぐ治療をして災難を未然に防ぐは肝心です。又た永年痼疾のたんせきぜんそくに惱んで居る人も、不思議に効く龍角散を飲めば、苦痛は拭ふやうに自然に治癒ます。

牛

『牛』の著 岡本米藏君新著

四六判絹表紙函入 本文三百二十餘頁 表紙竹内栖鳳伯畫 挿畫 福田眉仙筆 正價金壹圓 朝鮮郵稅八錢 內地滿洲郵稅拾錢

『牛』の姉妹篇也。著者は現代青年の最も信頼すべき味方也。不健全なる思想の芟除と健全なる國民思想の建造に日夕焦慮する學者が憂國の熱情迸發して本書となる。著者は海外事業の勝利者にして亦た國民思想の鍛錬者擧牛の殿驍にして亦た國民思想の鍛錬者なり(?)くす所や血あり涙あり斷じて凡上の空論にあらず。本書一度出版の報傳はるや四方爭ひ求めて、約既に萬を越ゆ以て著者の權威を知るべし。

牛 岡本米藏君著 七十七版正價壹圓 朝鮮郵稅八錢 內地滿洲三十錢

京城本町 博文發館行

天下渇仰の名著愈出づ

藤田亮策著 平尾龍著

新刊 朝鮮錢史 乾

著者の古錢研究に沒頭するや既に年あり今や其秘鼓と其見識とは一方の權威として斯界に喧傳せらる本書は錢貨學(Numismatics)の見地より編纂せるものにして啻に貨幣史として古錢良否たるに止らず考古學上好個の著述なり殊に其收錄の鋳圖は近時發見の珍貨を網羅し著者秘蔵のもの尠なからず其高麗鑄造の金銀及鉚錢等に關する創見は愛泉家の蒙を啓くや大なり

大阪造幣局技師甲賀博士より著者に寄せられたる序評に曰く『考證斬新頗る從來著述者の蒙を啓くに足る』と

高麗朝迄の部 定價九十錢 送料二錢

日鮮會話精通

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郞著

販賣部數僅々百部に過ぎざれば至急本代理部に申込まれ

袖珍總クロース函美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ

一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せし人士に取りては必讀の續篇とす

一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば

イ、單語の數は實に八千以上なり

ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす

ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百

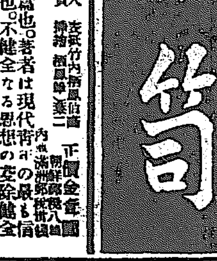
ニ、譯方正確にして且つ嶄新

一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 大阪屋號 嚴松堂

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる 自轉車用 提灯 挿



パイン萬年筆 電話 番

定價卅八錢 送料金二錢

取締規則に適應し提灯携帶を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く體形優美の金屬製なり

發賣元 京城太平通(電話三六〇番) 振替京城三〇〇番 京日代理部

▲市內廿電話にて申越次第御届申可候

京城鍾路山手各地 賣物有御注意

●りん病ばい毒 主治 諸 病

▽にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地に偽ドラッグあり御注意下され當京城支店は外にドラッグ商會と號する者あらばそれは全く商號を盗用する詐欺漢なり

京城南大門外 花柳病專門藥局 ドラッグ商會 京城支店

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆

●神戸大阪行(群山寄港) 須磨丸 三月十二日 後五時

△南部丸 三月九日 後五時

△關州丸 三月十三日 後五時

×木浦、釜山、嚴原、舞ノ浦、長崎行 安東丸 三月十八日 後二時

×鎭南浦、大連行 安東丸 三月十三日 後二時 信濃川丸 月 日 正午

元山出帆

西湖津、新浦、城津、淸津行 宮島丸 三月十日 後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 三月八日 後九時

大連出帆

上海、基隆、打狗行 湖北丸 三月三日 前六時

基隆丸 三月十四日 後四時

內地各港出帆主要航路

南米行 一年四回

濠洲行 每月一回

北米行 每月二回

孟買行 每月二回

南洋行 每月一回

御注意 [illegible]

本社 大阪商船株式會社 仁川支店

朝鮮郵船

○元山より北鮮各地經由雄基行

成鏡丸 月 日

第二高運丸 月 日

京城丸 月 日

×忠淸丸 月 日

[illegible]

尼崎汽船 仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行

神代丸 三月十四日 後四時

秀吉丸 三月六日 後四時

君代丸 三月四日 後四時

大有丸 三月八日 後四時

仁川海岸通二丁目 電話九一番 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆

芝罘、大連行 共同丸 三月八日 前十時 三月六日 午後八時

大阪にて商船會社と聯絡取扱

本町四丁目(電話一七三番) 阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 野口商會

元山代理店 南大門(電話二七六〇八) 田口回漕部

京城取次店 河村運送店

日本郵船 仁川出帆

大連行、天津行

相模丸 三月二十日

三河丸 三月十日

高砂丸 三月 日

仁川本町一丁目 堀回漕部

汽船 釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行

和歌浦丸 月 日 後五時出

元山、淸津、浦鹽行

立神丸 月 日 後五時出

和歌浦丸 月 日 後十時出

立神丸 月 日 後四時出

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行

天草丸 每月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

元山、西湖、新浦、城津、淸津行

第三琴平丸 三月十二日 後六時出

門司、宇品、神戶、大阪行

第三琴平丸 三月廿一日 後六時出

釜山港埠立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船 釜山出帆

○元山より北鮮各地經由雄基行

○大阪行(釜山門司經由) 平壤丸 月 日

○元山ヨリ釜山關門行 第二高運丸 月 日 元山

○元山ヨリ江原道寄港釜山關門行 成鏡丸 月 日 元山

○濟州島行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 每日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 月 日 釜山發

○濟州島行(濟州島八所及巨文島經由) 西歸丸 月 日 木浦發

○釜山、麗水、巨濟丸 每日 釜山發

○木浦鹿水面 南陽丸 三日目每二日 木浦發

○木浦ヨリ多島海名島行 慶興丸 月 日 木浦發

○仁川木浦行(群山其他各地經由) 晉州丸 月 日 仁川發

○濟州行(江華島經由) 金海丸 月 日 仁川發

○三十一日休航 其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ

○海州行(仁川、大連經由) 江原丸 月 日 仁川發

○鎭南浦行 平壤丸 月 日 元山發

○湖津行(大阪神戶門司より) 慶平丸 月 日 釜山發

京城自動車部 金泉支部 金泉電話四八番

間自動車著發時刻

[illegible]